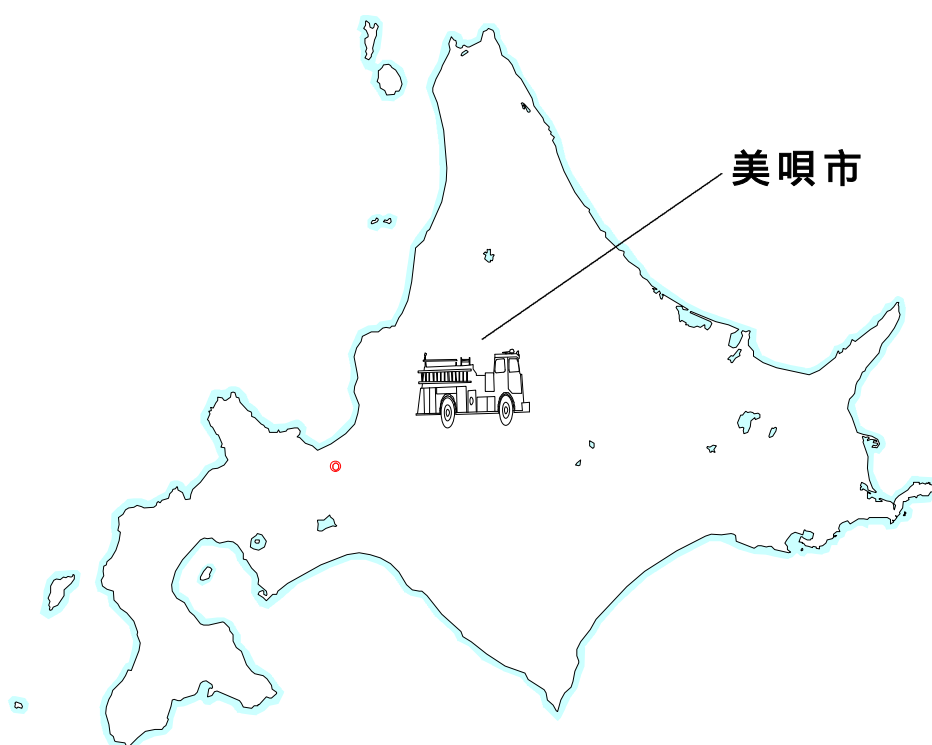


消 防 年 報

平成 2 1 年



美唄市消防本部

美 唄 市 民 憲 章

(昭和45年 7 月10日制定)

わたくしたちは たくましい開拓者精神をうけつぐ

美唄市民です

- 1 心もからだもすこやかに 教養を深めましょう
- 1 仕事に誇りをもち 明るい家庭を育てましょう
- 1 きまりを守り 思いやりのある社会をつくりましょう
- 1 自然を愛し 清潔で美しいまちをきずきましょう
- 1 若い力を育て 平和で豊かなまちにしましょう

は し が き

この年報は、平成21年中における当市の消防現勢及び消防行政執行状況並びに火災、救急統計を集録したもので、今後の消防行政推進の参考にするとともに、当市の消防事情を紹介するために編集したものです。

この年報が消防の執務上の資料となり、加えて地域住民の防火に対する指針の参考となれば幸いです。

この年報は、特記したものを除き、平成21年12月31日現在で作成したものです。

平成22年 3 月

美唄市消防本部

目 次

あゆみ

美唄市消防の沿革	1 ~ 7
歴代消防長	8
歴代消防署長	9
歴代組頭・団長	10
美唄市名誉消防団員	11
叙勲者名簿	12 ~ 13

総務関係

管内略図	14
------	----

1 美唄市勢概況

(1) 位置及び面積	15
(2) 消防吏員・消防団員・消防機械の人口及び世帯割合	15
(3) 一般会計と消防予算の比較	15

2 消防機構

(1) 消防機構図	16
(2) 消防本部・消防署組織及び配置	
ア 消防職員の定員と実員	16
イ 消防本部職員配置状況	17
ウ 消防署職員配置状況	17
エ 分遣所職員配置状況	17
オ 消防職員階級別勤続年数調	18
カ 消防職員階級別年齢調	18
キ 消防職員資格取得状況	18

(3) 消防団組織

ア 消防団員の定員と実員	19
イ 消防団員配置状況	19
ウ 消防団員階級別勤続年数調	20
エ 消防団員階級別年齢調	20
オ 消防団員災害延出動人員調	21

3 消防施設

消防用建造物一覧表	22
-----------	----

警防関係

1 消防装備

(1) 消防自動車配置表	23
(2) 小型動力ポンプ積載車配置表	24
(3) 小型動力ポンプ配置表	24
(4) 消防水利の現有状況	25

2 救助活動

(1) 救助出場件数及び活動件数	26
(2) 主な救助活動状況	26

救急関係

1 救急統計

(1) 応急手当普及啓発活動状況	27
(2) 月別出場状況	27
(3) 曜日別出場状況	28
(4) 覚知別出場状況	28
(5) 救急出場の時間別件数調	29
(6) 年齢区分別搬送人員状況	30
(7) 傷病程度別搬送人員状況	30
(8) 過去10年間の出場状況	31

2 消防通信施設

(1) 消防緊急通信指令施設

ア システム構成図	32
イ 機器構成	32

(2) 消防無線の概要

	33
--	----

3 緊急通報装置

	34
--	----

(1) 一般住宅用緊急通報装置受信状況	35
(2) シルバーハウジング緊急通報装置受信状況	35
(3) 緊急通報装置受信内容状況	35

4 気象記録

	36
--	----

予防関係

1 予防統計

(1) 指定防火対象物状況	37
(2) 建築同意処理状況	
ア 工事別同意状況	38
イ 用途別同意状況	38
(3) 中高層建築物の状況(4 階以上)	39
(4) 広報・広聴実施状況	39
(5) 予防活動状況	39
(6) 消防法・火災予防条例届出等の処理状況	40
(7) 防火団体設立状況	
ア 危険物安全協会	40
イ 幼年消防クラブ	40
ウ 婦人防火クラブ	40

2 危険物統計

(1) 危険物施設状況	41
(2) 危険物申請等処理状況	42
(3) 危険物製造所等倍数別設置状況	43

3 火災概要

(1) 火災発生状況	44
(2) 管轄別火災状況	45
(3) 月別火災状況	46
(4) 出火原因別火災状況	46
(5) 出火時刻別火災状況	47
(6) 過去 5 年間の火災状況	48
(7) 過去 5 年間の火災原因別分類	48
(8) 過去 5 年間の月別発生状況	49
(9) 過去 5 年間の時刻別発生状況	49
(10) 過去 5 年間の曜日別発生状況	49
(11) 消防本部発足以来の火災件数の経過	50 ~ 52
(12) 昭和45年以降の主な火災	53

あ ゆ み



昭和30年代の訓練風景

美 唄 市 消 防 の 沿 革

明治

36年 8 月 私設沼貝消防組設立 初代組頭 鈴木武四郎

乙号型腕用ポンプ 1 台

37 . 10 私設沼貝消防組が公立沼貝消防組に改組 組員36名

40 . 5 美唄市街地大火(22棟20戸焼失)

大正

5 . 5 私立美唄炭山消防組結成 組員30名 腕用ポンプ 1 台

6 . 7 私立美唄炭山消防組を公立我路消防組に改称

沼貝消防組に部制を設ける。

第 1 部 沼貝市街地

第 2 部 峰延市街地 部員28名

9 . 12 沼貝消防組第 3 部発足

第 3 部 茶志内市街地 部員13名 7 号腕用ポンプ 1 台

11 . 3 沼貝消防組第 4 部発足

第 4 部 沼貝市街地 部員26名 腕用ポンプ 1 台

15 . 6 沼貝町が美唄町と改称される。(6,141世帯・32,240人)

沼貝消防組を美唄消防組に改称

昭和

2 . 9 美唄消防組第 2 部が独立し峰延消防組設立 組員25名

美唄消防組第 4 部を第 2 部に改称

美唄消防組第 4 部発足

第 4 部 美唄市街地 部員25名 腕用ポンプ 1 台

4 . 5 我路市街地大火 焼失204戸

6 . 12 我路市街地大火 焼失76戸

9 . 6 美唄消防組第 5 部発足

第 5 部 美唄市街地 部員25名 腕用ポンプ 1 台

9 . 9 美唄消防組本部庁舎新築(現大通西 1 条南 1 丁目)に木造 2 階建

美唄消防組第 5 代組頭 故海老名広吉氏の遺志により庁舎横に火の見鉄骨
望楼81尺(24.5m) 1 基建造

11 . 5 消防ポンプ自動車 1 台購入 美唄消防組に配備

12 . 5 美唄市街地大火 焼失372戸、損害額180万円、罹災者1,900名

- 13 . 4 消防団常備 2 名配備
- 13 . 10 美唄市街地の大火で美唄消防組本部庁舎焼失したため、同敷地に同本部庁舎
新築木造モルタル 2 階建 延365㎡
- 14 . 4 警防団令(勅令)施行 美唄消防組を美唄警防団に再編成
1 本部 15分団 927名
炭鉱地区に三井美唄警防団・三菱美唄警防団が同時に発足
- 18 . 4 美唄警防団15分団を統廃合し11分団に再編成
- 19 . 4 消防団常備 7 名増員(計 9 名) 第 2 分団に 4 名配備
- 22 . 4 消防団令(勅令)施行 各警防団を消防団に改称
- 22 . 8 美唄消防団 6 分団 4 部制に再編成 団員299名
我路消防団発足 団員75名
- 22 . 12 消防組織法(法律第226号)公布 消防組織は自治体消防として独立する。
- 23 . 4 望楼監視勤務開始
- 23 . 7 消防法(法律第186号)公布
- 23 . 10 水槽付消防ポンプ自動車購入 美唄消防団に配備
- 24 . 2 美唄・南美唄・峰延・光珠内・茶志内・沼南・三井美唄・三菱美唄・三井新
美唄・日東三菱茶志内・我路の11団編成となる。 団員1,024名
消防装備 消防ポンプ自動車 11台
水槽付消防ポンプ自動車 1 台
手びきガソリンポンプ 12台
腕用ポンプ 16台
防火水槽 63基
消火栓 395基
- 25 . 4 市制施行により美唄市となる。(16,356世帯、87,095人)
消防団常備が美唄市消防本部・消防署として発足 消防職員定員30名
初代消防長 前田富蔵、初代署長 深尾三郎
- 25 . 9 北海道消防ポンプ操法競技大会に初出場
- 26 . 2 茶志内消防団 中村分団発足 団員20名
- 26 . 3 三井新美唄消防団解団 同地域を三井美唄消防団管轄区域に編入
美唄消防 10団 1,055名
- 26 . 4 消防職員 定員38名
茶志内出張所開設 職員 2 名配置
- 26 . 7 北海道消防ポンプ操法競技大会出場 B 級 第 3 位入賞
- 26 . 9 美唄駅前大火 焼失21戸、損害額3,950万円

- 27 . 4 消防職員 定員40名
- 27 . 6 峰延機関員出張所開設 職員 1 名配置
- 27 . 7 美唄消防団創立50周年記念式典挙行
- 27 . 9 南美唄機関員出張所開設 職員 1 名配置
- 28 . 4 消防職員 定員45名
美唄市街地大火 焼失41戸 損害額2,620万円
- 29 . 4 第一機関員出張所開設 職員 1 名配置
- 29 . 12 南美唄市街大火 焼失28戸 損害額 1 億900万円
- 31 . 4 美唄消防 4 団に再編成
美唄消防団 11分団 273名
三菱美唄消防団 3 分団 325名
三井美唄消防団 120名
三菱茶志内消防団 50名
- 31 . 6 旭機関員出張所開設 職員 1 名配置
- 31 . 7 美唄市消防火災出動要綱制定
- 31 . 11 美唄消防団我路分団発足 団員60名
- 32 . 7 茶志内出張所を茶志内機関員出張所に改称 職員 1 名配置
- 32 . 10 沼南分団詰所新築
- 32 . 12 美唄消防団上美唄分団発足 団員22名
- 33 . 3 日東市街大火 焼失29戸 損害額800万円
- 33 . 4 消防職員 定員48名
- 35 . 8 日本損害保険協会から普通消防ポンプ自動車の寄贈を受け署に配備
- 36 . 8 美唄消防団東明分団発足 団員30名
- 36 . 9 東明機関員出張所開設 職員 1 名配置
消防無線固定局開設 基地局 ~ 1、移動局 ~ 2
- 38 . 2 美唄市火災予防条例(条例 1 号)公布
- 39 . 4 消防職員 定員55名
三井美唄消防団解団 美唄消防団に編入し三井分団発足 団員38名
三井出張所開設 職員 4 名配置
- 39 . 5 我路分遣所を出張所に改称
- 40 . 10 三菱美唄消防団を東美唄消防団に改称 団員180名
- 40 . 11 東美唄出張所開設 職員 2 名配置
- 41 . 8 集中豪雨(降水量249mm) 死傷者 4 名
家屋、河川、道路、橋梁の損壊 被害総額23億8,240万円

- 42 . 3 三菱茶志内消防団解団 同地域を美唄消防団茶志内分団管轄区域に編入
昭和41年 8 月豪雨水防活動に対し、美唄消防団が建設大臣表彰受賞
- 42 . 9 美唄市消防本部救急業務実施規定制定 救急業務開始
- 43 . 3 南美唄出張所・分団詰所新築
美唄消防団条例の一部改正 団員定員566名とする。
- 43 . 4 三井分団を解団 同地域を南美唄分団管轄区域に編入
三井出張所廃止
- 43 . 11 救急車 1 台購入 署に配備
- 45 . 11 日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受け中央分団に配備
- 46 . 1 寄宿舍火災(焼失59m²) 焼死者10名、負傷者 1 名
- 46 . 2 美唄市消防本部・署庁舎新築(現西 1 条北 6 丁目 1 番30号)
鉄筋コンクリート 2 階建 延1,058m²
消防無線更新 基地局 ~ 1、移動局 ~ 5
望楼勤務廃止
- 46 . 7 消防職員 定員58名
- 47 . 3 川西栄三団長が消防庁長官功労章受賞
- 47 . 7 東美唄消防団解団 同地域を美唄消防団我路分団管轄区域に編入
- 47 . 8 東美唄出張所廃止
- 47 . 10 化学車 1 台購入 署に配備
相次ぐ炭鉱閉山のため一市一団となり美唄市消防団と改称
1 団 14分団 386名
- 48 . 2 美唄市消防団が優良消防団として、日本消防協会より表彰旗授与される。
- 48 . 4 峰延機関員出張所を出張所に改称 職員 3 名配置
- 48 . 8 北海道消防操法大会出場(中央分団)
- 48 . 10 消防本部・署機構改革、消防本部 2 課 4 係・ 1 署制とする。
第一機関員出張所・旭機関員出張所閉鎖
- 49 . 1 出初式においてキヤリ行進を始める。
- 49 . 7 日本船舶振興会から小型ポンプ付積載車の寄贈を受け進徳分団に配備
- 49 . 8 光珠内分団詰所新築
- 50 . 4 大型移動水槽車(10 t) 1 台購入 署に配備
- 50 . 8 台風 6 号集中豪雨(降水量200mm)
石狩川越水により市内中河川氾濫 被害総額33億3,000万円
北海道救助技術指導会に初参加
空知信用金庫より救急車の寄贈を受け署に配備(2 台体制)

- 51 . 2 昭和50年 8 月 台風 6 号水防活動に対し、美唄市消防団が建設大臣表彰受賞
- 51 . 7 我路分団解団、同地域を東明分団管轄区域に編入
- 51 . 10 美唄市消防団条例及び規則一部改正 13分団 定員312名
- 51 . 12 消防本部、署機構改革、消防本部 3 課 6 係・ 1 署制とする。
- 52 . 10 茶志内出張所・分団詰所新築
- 53 . 7 北海道消防操法大会出場(峰延分団)
- 53 . 10 15m級屈折はしご付消防ポンプ自動車 1 台購入 署に配備
東明機関員出張所を出張所に改称 職員 3 名配置
- 54 . 6 南美唄機関員出張所を出張所に改称 職員 2 名配置
- 54 . 10 東明出張所・分団詰所新築
- 55 . 11 署に通信一斉指令装置導入
- 55 . 12 旭分団詰所新築
- 56 . 8 集中豪雨(降水量426.8mm)
市内中河川氾濫 被害総額41億5,700万円
- 56 . 9 日本損害保険協会から救助工作車の寄贈を受け、署に配備
- 56 . 10 消防無線更新 基地局 ~ 1、移動局 ~ 9、携帯 ~ 2
署に消防気象観測装置導入
- 56 . 11 8 月集中豪雨水防活動により美唄市消防団が建設大臣表彰受賞
- 57 . 7 孫在永氏から災害救助用アルミボート 3 艘及び救命胴衣50着の寄贈を受ける。
- 57 . 9 昭和56年 8 月集中豪雨水防活動により美唄市消防団が内閣総理大臣表彰受賞
- 58 . 4 第一分団詰所新築(福社会館に併設)
- 58 . 9 美唄市消防団条例及び規則一部改正 13分団 定員285名
- 60 . 4 各出張所を分遣所に改称
- 60 . 11 上美唄分団詰所新築(福社会館に併設)
- 61 . 2 美唄市消防安全管理規程制定
- 61 . 9 進徳分団詰所新築
- 62 . 11 北海道共済農業協同組合連合会から救急自動車 1 台の寄贈を受け、署に配備
- 62 . 12 中村分団詰所新築(中村地区コミュニティ消防センター)
- 63 . 4 消防本部・署機構改革、消防本部 2 課 4 係・ 1 署 6 係制とする。
我路分遣所廃止、連絡所とする。
東明分団我路部廃止
- 63 . 9 北海道救急医療情報システム運用開始
- 63 . 12 大富分団詰所新築(大富地区コミュニティ消防センター)

平成

- 元 . 4 消防本部・署機構改革、消防本部 2 課 5 係・ 1 署 8 係制とする。
- 2 . 12 災害弱者緊急通報システム運用開始
峰延分遣所・分団詰所新築(峰延地区コミュニティ消防センター)
- 3 . 4 北海道広域消防相互応援協定を締結
- 3 . 6 西美唄保育所幼年消防クラブを結成
- 4 . 6 茶志内双葉・進徳保育園幼年消防クラブを結成
- 4 . 7 峰延・光珠内・茶志内・中村みのり保育所幼年消防クラブを結成
- 4 . 11 南美唄分遣所・分団詰所新築(南美唄地区コミュニティ消防センター)
大坪喜代太氏からマイクロバスの寄贈を受け、「美消号」と命名する。
美唄市名誉消防団員規程制定
- 5 . 3 水槽付消防ポンプ自動車(6,500 L) 1 台購入 署に配備
- 6 . 8 日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車(2,000 L)の寄贈を受け、
峰延分団に配備
- 6 . 11 美唄市消防団キヤリ保存会結成
- 7 . 3 我路連絡所廃止
- 7 . 7 北海道消防操法訓練大会出場(上美唄分団 小型ポンプ操法の部)
- 8 . 3 国道12号線拡幅工事に伴い消防庁舎の増改築工事を完了する。
鉄筋コンクリート・一部鉄骨造り 2 階建 1,890.02㎡
消防緊急通信指令施設 型・消防団緊急伝達システム導入
高規格救急自動車 1 台購入 4 月から運用開始する。
- 8 . 9 消防庁舎増改築に伴う外溝整備工事が完了する。
- 8 . 11 消防団で女性消防団員 8 名採用
大坪喜代太氏から美唄市消防団キヤリ保存会に太鼓 5 張の寄贈を受け、
「美消太鼓」と命名する。
- 8 . 12 消防長の退職に伴い12月19日付で助役 遠藤徳次が消防長事務取扱となる。
- 9 . 3 大坪喜代太団長が消防庁長官功労章受賞
- 9 . 4 機構改革により 1 署10係制及び東明・南美唄・峰延分遣所に所長を置く。
- 10 . 2 30m級はしご付消防自動車 1 台購入 署に配備
- 10 . 11 美唄市消防団が優良消防団として、北海道より表彰旗授与される。
- 10 . 12 沼南分団詰所新築(沼南地区コミュニティ消防センター)
- 11 . 3 茶志内分遣所廃止
- 12 . 4 有珠山噴火に伴い北海道広域消防相互応援協定によりポンプ隊 1 隊 5 名派遣
する。

- 13 . 3 救助工作車(型) 1 台購入 署に配置
- 14 . 3 美唄市消防本部、美唄市消防団、消防庁長官より竿頭綬授与される。
光珠内分団拓北部廃止
- 15 . 4 機構改革 消防署を 2 課制とし課長補佐を置く。
- 15 . 7 大坪喜代太氏からマイクロバスの寄贈を受ける。
- 15 . 8 財団法人日本宝くじ協会から訓練指導車「けすゾウくん」の寄贈を受ける。
- 15 . 10 十勝沖地震による出光興産(株)北海道製油所タンク火災に伴い北海道広域消防相互応援協定により化学車隊 1 隊15名派遣する。
- 16 . 6 美唄消防公設100年記念式典挙行
- 16 . 9 台風18号強風被害(市内最高風速37.5m) 被害総額10億6,091万円
- 17 . 6 美唄市消防団キヤリ保存会10周年記念式典挙行
- 18 . 11 化学消防ポンプ自動車(型) 1 台購入 署に配置
- 19 . 3 美唄市消防本部、美唄市消防団、消防庁長官より表彰旗授与される。
矢部正義団長が消防庁長官功労章受賞
- 19 . 4 美唄市消防団規則一部改正 9 分団 定員285名
中央分団・旭分団・東明分団・南美唄分団・光珠内分団・峰延分団
西美唄分団・中村分団・茶志内分団
- 19 . 9 東明分遣所廃止
- 19 . 10 大通西 1 条南 2 丁目建物火災で職員 2 名殉職
- 19 . 11 美唄市消防葬挙行
- 20 . 3 日本消防協会より防災指導車の交付を受け、署に配置
- 20 . 4 消防職員 定員48名
- 21 . 4 機構改革 消防署に救急課を置く

歴 代 消 防 長

代 数	階 級	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
初 代	消防司令長	前 田 富 蔵	昭和25年 4 月 1 日	昭和29年 9 月25日
第 2 代	消防司令長	佐 藤 始 馬	昭和29年 9 月25日	昭和43年 5 月 1 日
第 3 代	消防司令長	大 窪 隆 義	昭和43年 5 月 1 日	昭和44年 4 月 1 日
第 4 代	消防司令長	平 泉 利 正	昭和44年 4 月 1 日	昭和48年 3 月31日
第 5 代	消防司令長	石 田 正 雄	昭和48年 4 月 5 日	昭和51年12月20日
第 6 代	消 防 監	仁 村 清 次	昭和51年12月21日	昭和58年 4 月 1 日
第 7 代	消 防 監	会 木 猛	昭和58年 4 月 1 日	昭和61年 3 月31日
第 8 代	消 防 監	井 坂 進	昭和61年 4 月 1 日	昭和63年 3 月31日
第 9 代	消 防 監	藤 崎 秀 明	昭和63年 4 月 1 日	平成 7 年 3 月31日
第10代	消 防 監	伊 藤 順 一	平成 7 年 4 月 1 日	平成 8 年12月 8 日
第11代	消 防 監	木 内 汎 司	平成 9 年 4 月 1 日	平成13年 3 月31日
第12代	消 防 監	中 明 廣 幸	平成13年 4 月 1 日	平成15年 3 月31日
第13代	消防司令長	佐 藤 賢 治	平成15年 4 月 1 日	平成21年 3 月31日
第14代	消防司令長	霜 田 公 法	平成21年 4 月 1 日	

平成18年 4 月階級規則改正により消防長の階級を消防監から消防司令長とする。

歴 代 消 防 署 長

代 数	階 級	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
初 代	消 防 司 令	深 尾 三 郎	昭和25年 4 月 1 日	昭和40年 5 月10日
第 2 代	消 防 司 令	田 村 勝 視	昭和40年 6 月 1 日	昭和44年 4 月 1 日
第 3 代	消 防 司 令	平 泉 利 正	昭和44年 4 月 1 日	昭和48年 3 月31日
第 4 代	消 防 司 令	石 田 正 雄	昭和48年 4 月 5 日	昭和48年 9 月30日
第 5 代	消 防 司 令	仁 村 清 次	昭和48年10月 1 日	昭和53年 3 月31日
第 6 代	消防司令長	会 木 猛	昭和53年 4 月 1 日	昭和58年 3 月31日
第 7 代	消防司令長	井 坂 進	昭和58年 4 月 1 日	昭和61年 3 月31日
第 8 代	消防司令長	藤 崎 秀 明	昭和61年 4 月 1 日	昭和63年 3 月31日
第 9 代	消防司令長	落 合 幸 作	昭和63年 4 月 1 日	平成 4 年 3 月31日
第10代	消防司令長	伊 藤 順 一	平成 4 年 4 月 1 日	平成 7 年 3 月31日
第11代	消防司令長	木 内 汎 司	平成 7 年 4 月 1 日	平成 9 年 3 月31日
第12代	消防司令長	中 明 廣 幸	平成 9 年 4 月 1 日	平成13年 3 月31日
第13代	消防司令長	佐 藤 賢 治	平成13年 4 月 1 日	平成15年 3 月31日
第14代	消 防 司 令	清 水 史 夫	平成15年 4 月 1 日	平成21年 3 月31日
第15代	消 防 司 令	後 藤 樹 人	平成21年 4 月 1 日	

平成18年 4 月階級規則改正により署長の階級を消防司令長から消防司令とする。

歴 代 組 頭 ・ 団 長

名 称	代 数	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
沼 貝 消 防 組	初 代	鈴 木 武四郎	明治37年10月21日	明治38年
沼 貝 消 防 組	第 2 代	吉 積 儀 蔵	明治38年	明治42年 6 月
沼 貝 消 防 組	第 3 代	谷 本 秋 次	明治42年 6 月	明治43年 5 月
沼 貝 消 防 組	第 4 代	山 田 与三松	明治43年 5 月	明治45年
沼 貝 消 防 組	第 5 代	海老名 広 吉	明治45年	大正 8 年 8 月
沼 貝 消 防 組	第 6 代	野 村 甚太郎	大正 8 年 8 月	大正15年 6 月
美 唄 消 防 組	初 代	野 村 甚太郎	大正15年 6 月	大正15年10月
美 唄 消 防 組	第 2 代	山 本 寅 吉	大正15年10月	昭和12年12月
美 唄 消 防 組	第 3 代	池 田 千 治	昭和12年12月	昭和14年 4 月 1 日
美 唄 警 防 団	初 代	池 田 千 治	昭和14年 4 月 1 日	昭和18年 3 月14日
美 唄 警 防 団	第 2 代	奥 山 政次郎	昭和18年 4 月	昭和22年 8 月 1 日
美 唄 消 防 団	初 代	前 田 富 蔵	昭和22年 8 月 1 日	昭和25年 3 月31日
美 唄 消 防 団	第 2 代	小 松 智 一	昭和25年 7 月 1 日	昭和31年 3 月31日
美 唄 消 防 団	第 3 代	川 西 栄 三	昭和31年 6 月 1 日	昭和47年10月14日
美 唄 市 消 防 団	初 代	川 西 栄 三	昭和47年10月14日	昭和54年10月20日
美 唄 市 消 防 団	第 2 代	伊 藤 誠 市	昭和54年10月20日	昭和62年 3 月31日
美 唄 市 消 防 団	第 3 代	大 坪 喜代太	昭和62年 4 月 1 日	平成13年 3 月31日
美 唄 市 消 防 団	第 4 代	矢 部 正 義	平成13年 4 月 1 日	

美 唄 市 名 誉 消 防 団 員

号 数	氏 名	名誉称号贈呈年月日	備 考
1	伊 藤 誠 市	平成 5 年 1 月 7 日	平成 5 年 7 月13日逝去
2	鈴 木 三 郎	平成 5 年 1 月 7 日	
3	大 坪 喜代太	平成13年 7 月 8 日	
4	田 村 光 治	平成15年 7 月13日	
5	土 本 了	平成20年 7 月13日	

叙 勲 者 名 簿

受 賞 年 月 日	氏 名	勲 章 の 種 類	摘 要
昭和43年 4 月29日	藤 田 岩	勲七等瑞宝章	元中央分団長
昭和45年 7 月28日	佐 藤 始 馬	従五位勲四等瑞宝章	元消防長
昭和50年 4 月29日 昭和60年 9 月18日	川 西 栄 三	勲五等双光旭日章 従五位勲四等瑞宝章	元消防団長
昭和52年 4 月29日	福 井 勇	勲六等瑞宝章	元消防司令補
昭和52年11月 3 日 昭和57年 4 月10日	深 尾 三 郎	勲五等瑞宝章 従五位	元消防署長
昭和54年 4 月29日	古 泉 吉 郎	勲七等瑞宝章	元茶志内副分団長
昭和55年11月 3 日	山 田 盛 明	勲六等単光旭日章	元消防副団長
昭和57年 4 月29日	山 崎 政 典	勲七等青色桐葉章	元茶志内分団長
昭和58年 4 月29日	好 川 政 勝	勲七等青色桐葉章	元茶志内分団長
昭和63年11月 3 日	伊 藤 誠 市	勲五等瑞宝章	元消防団長
平成 4 年 4 月29日 平成13年 4 月10日	久保田 俊 男	勲六等単光旭日章 従七位	元消防司令
平成 8 年11月 3 日	武 田 忠	勲六等瑞宝章	元消防司令
平成10年 5 月20日	工 藤 恭 雄	勲六等単光旭日章 正七位	元消防司令
平成11年 2 月21日	道 山 守	勲六等単光旭日章 正七位	元消防司令
平成13年 4 月29日	中 野 興 吉	勲六等瑞宝章	元東明分団長
平成15年 4 月29日	大 坪 喜代太	勲五等双光旭日章	元消防団長
平成15年11月 3 日	安 藤 富 夫	瑞宝単光章	元消防司令
平成16年 4 月29日	落 合 幸 作	瑞宝単光章	元消防司令長

叙 勲 者 名 簿

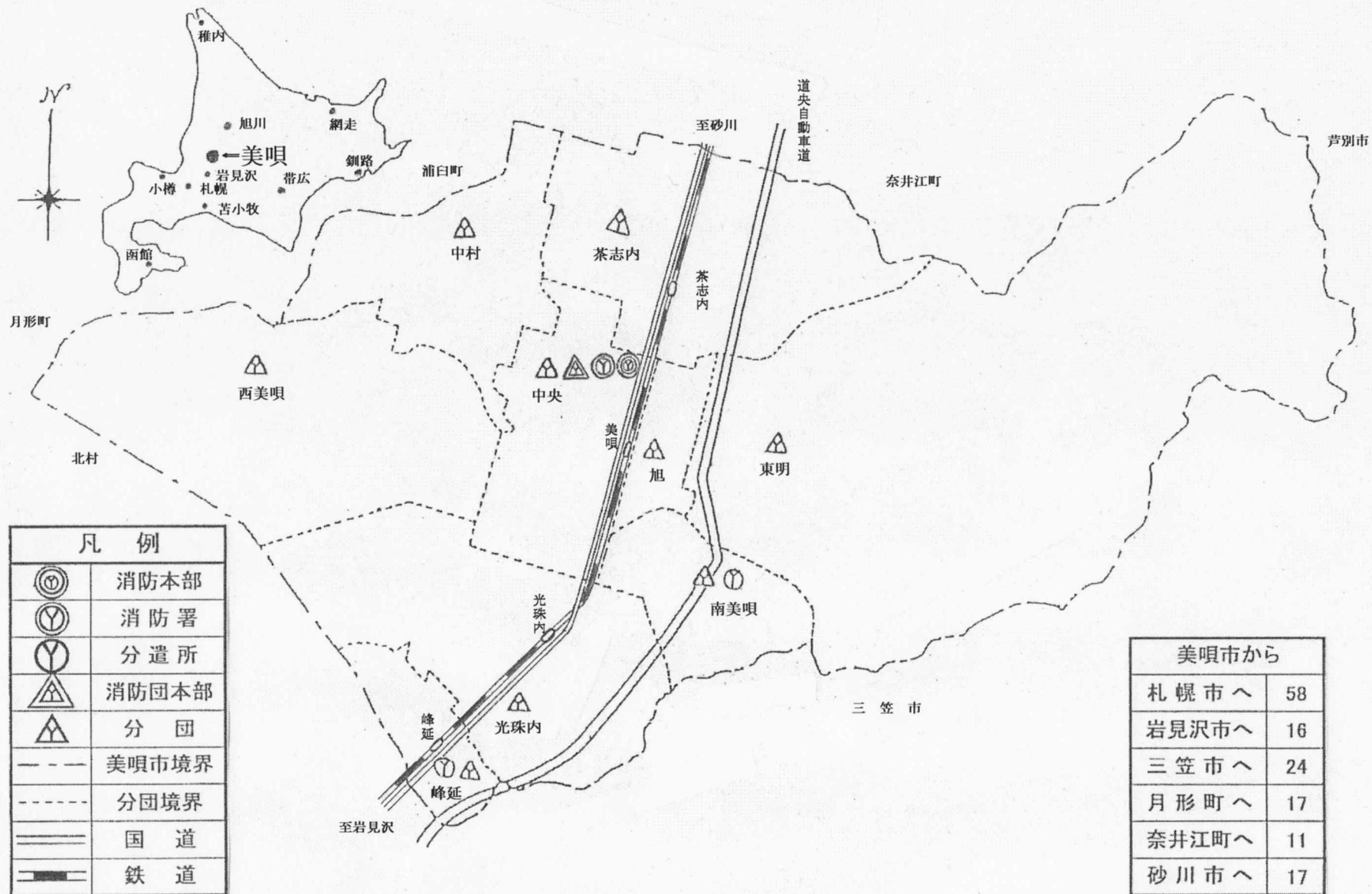
受 賞 年 月 日	氏 名	勲 章 の 種 類	摘 要
平成16年11月 3 日	田 村 光 治	瑞宝単光章	元消防副団長
平成16年11月 3 日 平成19年 1 月30日	林 幸 夫	瑞宝単光章 正七位	元消防司令
平成17年 4 月29日	佐 藤 幸 一	瑞宝単光章	元消防司令補
平成17年11月 3 日	武 藤 猛	瑞宝単光章	元消防司令
平成18年 4 月29日	河 野 悦 雄	瑞宝単光章	元消防司令
平成18年11月 3 日	河 奥 利 章	瑞宝単光章	元消防司令補
平成19年 4 月29日 平成21年12月15日	會 木 猛	瑞宝双光章 正七位	元消防監
平成19年 4 月29日	川 原 武 男	瑞宝単光章	元消防司令
平成19年 4 月29日	高 倉 芳 昭	瑞宝単光章	元消防司令補
平成19年10月27日	北 清 幸 司	旭日単光章	元消防司令
平成19年10月27日	山 岸 信 貴	旭日単光章	元消防士長
平成19年11月 3 日	井 坂 進	瑞宝双光章	元消防監
平成20年 4 月29日	藤 崎 秀 明	瑞宝双光章	元消防監
平成20年11月 3 日	木 内 汎 司	瑞宝双光章	元消防監
平成21年 4 月29日	太 齋 隆 三	瑞宝単光章	元第一分団長
平成21年11月 3 日	西 館 喜 多	瑞宝単光章	元消防司令

総務



平成21年 美唄市消防演習

管内略図



1 美唄市勢概況

(1) 位置及び面積

面 積	周 囲	位 置		広 ば う		人 口	世 帯
		東 経	北 緯	東 西	南 北		
km ² 277.61	834km	東 142°03'50"	南 43°14'46"	32km	19km	26,770人	12,783世帯
		西 141°40'40"	北 43°24'58"				

備考 東は山岳地帯で海拔500m以内の夕張山地が連なり、三笠、芦別の両市に接し、西は石狩川を境にして月形町、浦臼町に接する。南は岩見沢市に、北は奈井江町に接する。

(2) 消防吏員・消防団員・消防機械の人口及び世帯割合

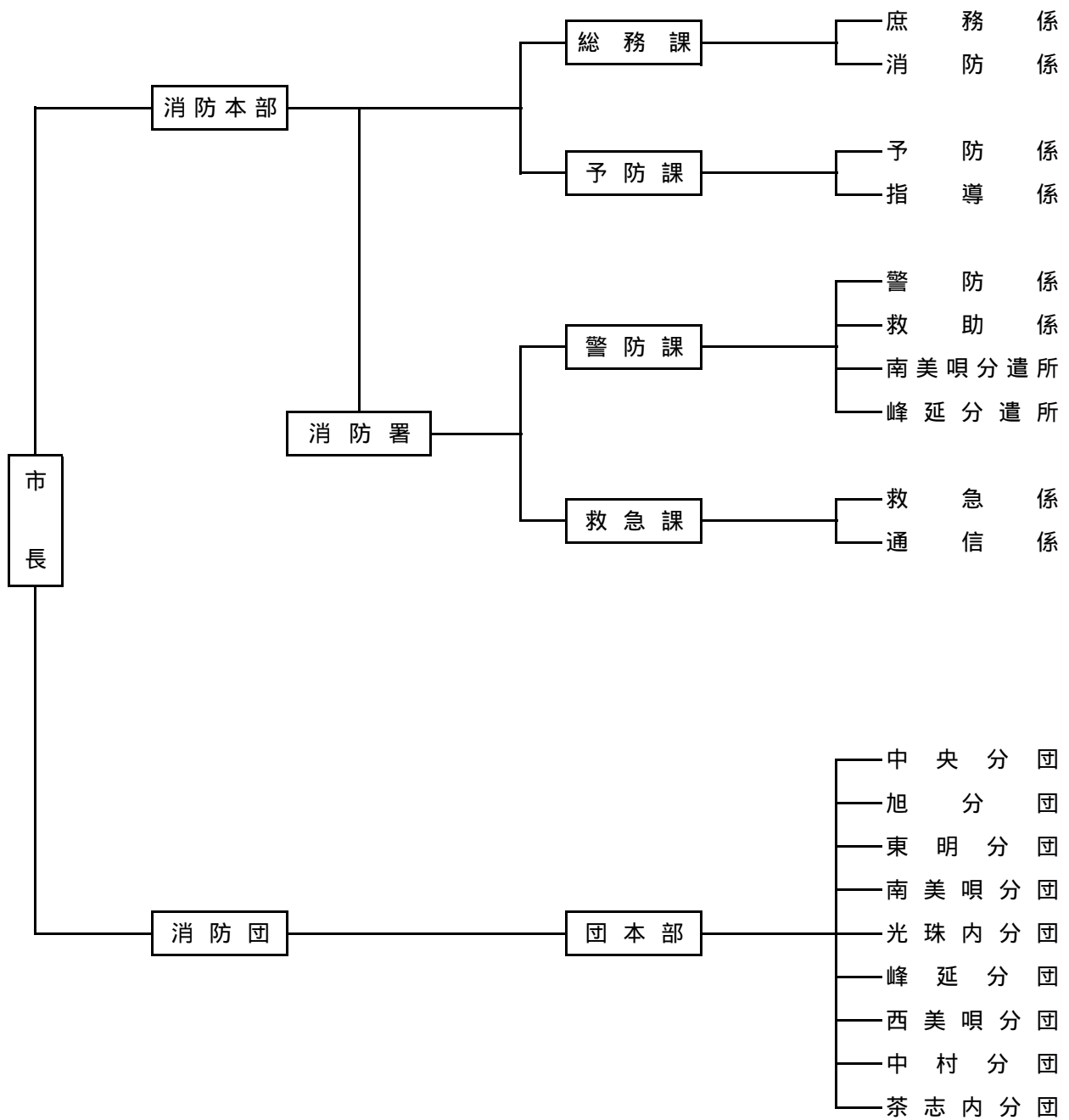
区 分 \ 区 分	人 口	世 帯	面 積	備 考
消 防 吏 員 1 人 当 り	595人	284世帯	6.16km ²	消防機械口数は次による。
消 防 団 員 1 人 当 り	108人	51世帯	1.08km ²	ポンプ自動車 1台2口
消 防 機 械 1 口 当 り	1,339人	639世帯	12.61km ²	小型動力ポンプ 1台1口

(3) 一般会計と消防予算の比較

区 分 \ 年 度	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度	平成17年度	平成16年度
一 般 会 計 (千円)	17,095,607	16,075,801	16,938,321	18,699,163	17,130,275	17,412,657
消 防 費 (千円)	417,819	433,750	476,165	536,280	484,950	516,640
一般会計に対する消防費	2.4%	2.7%	2.8%	2.9%	2.8%	3.0%
市民一人当り消防費(円)	15,608	15,889	17,047	18,712	16,583	17,381
1 世 帯 当 り 消 防 費 (円)	32,686	33,673	36,591	40,646	36,487	38,758

2 消 防 機 構

(1) 消防機構図



(2) 消防本部・消防署組織及び配置

ア 消防職員の定員と実員

階 級 \ 区 分	計	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士
定 員	48	1	47				
実 員	45	1	8	13	17	0	6

(注) その他嘱託4名

イ 消防本部職員配置状況

階 級 所 属		計	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	嘱 託
消 防 長		1	1						
総 務 課	総務課長	1		1					
	課長補佐	1		1					
	庶務係	5			2	1		1	1
	消防係	3 [1]		[1]	1	2			
予 防 課	予防課長	1		1					
	課長補佐	1		1					
	予 防 係	4			2	2			
	指 導 係	4 [1]		[1]	1	2		1	
計		19 [2]	1	4 [2]	6	7			1

(注) [] の数は外数として事務取扱者を示す。

ウ 消防署職員配置状況

階 級 所 属		計	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	嘱 託
消 防 署 長		1	1					
警 防 課	警 防 課 長	[1]	[1]					
	課 長 補 佐	1	1					
	警 防 係	5 [1]	[1]	1	2		2	
	救 助 係	6		2	2		2	
救 急 課	救 急 課 長	1	1					
	課 長 補 佐	1	1					
	救 急 係	5 [1]	[1]	1	2		2	
	通 信 係	4		2				2
計		24 [3]	4 [3]	6	6		6	2

(注) [] の数は外数として事務取扱者を示す。

エ 分遣所職員配置状況

階 級 所 属		計	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	嘱 託
南 美 唄 分 遣 所		1						1
峰 延 分 遣 所		2		1	1			
計		3		1	1			1

才 消防職員階級別勤続年数調

階 級 年 数	計	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士
5年未満	6				1		5
5年 ～ 10年未満	5				4		1
10年 ～ 15年未満	3				3		
15年 ～ 20年未満	7				7		
20年 ～ 25年未満	6			5	1		
25年 ～ 30年未満	11		4	7			
30年以上	7	1	4	1	1		
計	45	1	8	13	17		6
平均(年・月)	19・9	34・9	32・9	26・9	15・9		3・8

力 消防職員階級別年齢調

階 級 年 数	計	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士
20歳未満							
20歳 ～ 25歳未満	1						1
25歳 ～ 30歳未満	9				4		5
30歳 ～ 35歳未満	4				4		
35歳 ～ 40歳未満	5				5		
40歳 ～ 45歳未満	8			5	3		
45歳 ～ 50歳未満	11		3	8			
50歳 ～ 55歳未満	4		4				
55歳以上	3	1	1		1		
計	45	1	8	13	17		6
平均(歳・月)	39・6	58・6	52・6	45・6	36・6		26・5

キ 消防職員資格取得状況

資格種別 階 級	大型自動車運転免許	大型特殊免許	小型移動式クレーン	玉掛け	救急課程	救急課程	救急標準課程	救急救命士	乙種危険物取扱者	消防設備士	特殊無線技士	ガス溶接士	電気溶接士	酸欠作業主任	硫化水素作業主任	整備管理者	衛生管理者	特定化学作業主任
消防司令長	1				1	1		1										
消 防 司 令	8	1	2	1	8	1		1	1		1	2	1	3			1	
消防司令補	13	1	7	5	13	10		3			4	6	2	7	2	3		1
消 防 士 長	16	2	8	6	4	3	12	3	9	1	3	4	3	6	5			1
消防副士長																		
消 防 士	4		1	1			1	5	1	1	1							
計	42	4	18	13	26	15	13	13	11	2	9	12	6	16	7	3	1	2

(3) 消防団組織

ア 消防団員の定員と実員

階 級 区 分	計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
定 員	285	1	2	12	12	30	55	173
実 員	249	1	2	12	12	29	53	140

イ 消防団員配置状況

所 属	階級 定員	計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
団 本 部	20	16	1	2	3		1	2	7
中 央 分 団	35	26			1	2	3	6	14
旭 分 団	30	22			1	1	3	5	12
東 明 分 団	25	23			1	1	3	5	13
南 美 唄 分 団	25	22			1	1	3	5	12
光 珠 内 分 団	40	36			1	2	4	8	21
峰 延 分 団	25	19			1	1	3	5	9
西 美 唄 分 団	40	40			1	2	4	8	25
中 村 分 団	20	20			1	1	2	4	12
茶 志 内 分 団	25	25			1	1	3	5	15
計	285	249	1	2	12	12	29	53	140

ウ 消防団員階級別勤続年数調

年 数 \ 階 級	計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
1年未満	7							7
1年 ～ 5年未満	50							50
5年 ～ 10年未満	53						2	51
10年 ～ 15年未満	38			1		1	12	24
15年 ～ 20年未満	36					4	25	7
20年 ～ 25年未満	30				3	13	13	1
25年 ～ 30年未満	22			7	7	8		
30年以上	13	1	2	4	2	3	1	
計	249	1	2	12	12	29	53	140
平均(年・月)	13・6	46・0	38・9	29・6	26・7	25・7	19・7	9・8

エ 消防団員階級別年齢調

年 数 \ 階 級	計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
20歳未満	0							
20歳 ～ 25歳未満	5							5
25歳 ～ 30歳未満	15							15
30歳 ～ 35歳未満	33					1	1	31
35歳 ～ 40歳未満	55						6	49
40歳 ～ 45歳未満	35					4	11	20
45歳 ～ 50歳未満	43			2	3	9	15	14
50歳 ～ 55歳未満	31			2	4	7	15	3
55歳 ～ 60歳未満	19			4	3	5	4	3
60歳以上	13	1	2	4	2	3	1	
計	249	1	2	12	12	29	53	140
平均(歳・月)	43・0	69・4	63・8	57・6	54・6	53・5	48・6	40・6

才 消防団員災害延出動人員調

月 別 所 属	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
団 本 部	34	1	6	5	6	11					2	3	
中 央 分 団	32		6	3	9	7					7		
旭 分 団	74	11	8	20	8	12					9	6	
東 明 分 団	67	15	15		13	13						11	
南 美 唄 分 団	44			15		19					10		
光 珠 内 分 団	78		12	12		18		36					
峰 延 分 団	31		12		19								
西 美 唄 分 団	74					40					34		
中 村 分 団	24							24					
茶 志 内 分 団	0												
計	458	27	59	55	55	120	0	60	0	0	62	20	0

3 消 防 施 設

消防用建造物一覧表

名 称	所 在 地	構 造	建 築 年 月	経過年	土地面積(㎡)	建物延面積(㎡)	摘 要
消 防 本 部・署	西1条北6丁目1番30号	鉄筋コンクリート・一部鉄骨造 2階建	昭和46年 1月	38	市有 3,095.78	1,890.02	中央分団併用 平成8年3月増改築
中 央 分 団	同 上	同 上					
旭 分 団	東4条南1丁目2番13号	木造モルタル 平屋建	昭和55年12月	29	市有 288.25	86.12	
東 明 分 団	東明5条2丁目1番8号	木造モルタル 平屋建	昭和54年10月	30	借地 399.51	144.80	
南 美 唄 分 団	南美唄町南町	木造防火サイディング張 2階建	平成 4年11月	17	借地 370.04	177.20	南美唄分遣所併用(コミセン)
光 珠 内 分 団	光珠内町2区	鉄骨造 平屋建	平成10年12月	11	市有 348.38	103.23	コミュニティ消防センター
峰 延 分 団	峰延町本町	木造防火サイディング張 2階建	平成 2年12月	19	市有 794.33	173.89	峰延分遣所併用(コミセン)
西 美 唄 分 団	西美唄町元村美富	鉄骨造 平屋建	昭和60年12月	24	市有 1,654.10	(104.34)	西美唄福祉会館併設 376.30㎡
中 村 分 団	中村町中央	鉄骨造 平屋建	昭和62年12月	22	市有 359.21	86.19	コミュニティ消防センター
茶 志 内 分 団	茶志内町2区	木造モルタル 2階建	昭和52年10月	31	市有 993.43	160.60	

警 防



平成18年製 化学消防ポンプ自動車 型

1 消 防 装 備

(1) 消防自動車配置表

区 分 所属別		種 別	車 種	年 式	登録番号	購入年月日	使用年数	備 考
消 防 署	1 号 車	水 槽 車	日 野	H 5	札 幌 8 8 た 2 1 - 5 1	H5.3.25	17	積載水 6,500ℓ
	3 号 車	化 学 車	日 野	H 1 8	札 幌 8 0 0 は 2 2 - 5 7	H18.11.22	4	積載水 2,000ℓ 薬剤 500ℓ
	4 号 車	救助工作車	日 野	H 1 3	札 幌 8 0 0 は 8 - 5 3	H13.3.19	9	2.9t小型クレーン搭載 2kw×2基大型照明 装置搭載
	5 号 車	移動水槽車	日 野	H 5	札 幌 8 8 た 2 3 - 8 2	H5.12.3	17	積載水 10,000ℓ
	6 号 車	はしご車	日 野	H 1 0	札 幌 8 8 た 3 8 - 8 4	H10.2.18	12	30m級
	救急車No1	高規格救急車	トヨタ	H 1 7	札 幌 8 3 0 と 9 9	H17.2.22	5	
	救急車No2	高規格救急車	いすゞ	H 8	札 幌 8 8 と 2 2 - 0 3	H8.3.21	14	
	指 揮 車		マツダ	H 2 0	札 幌 8 0 0 セ 7 1 - 0 6	H20.2.28	2	日本消防協会より 交付
	査 察 車		トヨタ	H 4	札 幌 8 8 て 5 6 - 6 5	H4.8.26	18	
	連 絡 車		日 産	H 2 0	札 幌 5 0 2 ひ 1 1	H20.7.1	2	
	マイクロバス		日 産	H 1 5	札 幌 2 0 0 さ 7 - 6 0	H15.7.23	7	
	訓練指導車		マツダ	H 1 5	札 幌 1 0 0 す 9 1 - 3 3	H15.8.20	7	財団法人宝くじ協 会より寄贈
中 央 分 団 車 (2 号 車)		水 槽 車	日 野	H 元	札 幌 8 8 た 8 - 4 3	H1.12.11	21	積載水 2,000ℓ
旭 分 団 車		ポンプ車	いすゞ	S 6 0	札 8 8 セ 8 8 - 7 9	S60.10.12	25	
東 明 分 団 車		ポンプ車	いすゞ	S 6 1	札 8 8 セ 9 7 - 5 5	S61.10.9	24	
南 美 唄 分 団 車		ポンプ車	日 野	H 1 2	札 幌 8 3 0 さ 2 4 - 1 6	H12.1.26	10	
峰 延 分 団 車		水 槽 車	三 菱	H 6	札 幌 8 8 て 8 7 - 9 9	H6.8.25	16	火災保険号 積載水 2,000ℓ
茶 志 内 分 団 車		ポンプ車	三 菱	H 1 5	札 幌 8 0 0 す 6 3 - 8 8	H15.2.3	7	
計		18台						

(2) 小型動力ポンプ積載車配置表

所属別	区 分	車種及び形式	年 式	登 録 番 号	購 入 年 月 日	使用年数
光 珠 内 分 団 車		三 菱 (キ ャ ン タ ー) U - F D 5 0 1 B 改	H 6	札 幌 8 8 て 9 4 - 2 2	平 成 6 年 12 月 21 日	16
西 美 唄 分 団 車		日 産 (ア ト ラ ス) U - S P 8 F 2 3 改	H 4	札 幌 8 8 て 6 0 - 4 6	平 成 4 年 11 月 10 日	18
中 村 分 団 車		日 産 (ア ト ラ ス) U - S P 8 F 2 3 改	H 5	札 幌 8 8 て 7 4 - 2 2	平 成 5 年 10 月 25 日	17
計		3 台				

(3) 小型動力ポンプ配置表

所属別	区 分	名 称	出 力 (P S)	種 別	最 大 放水量 (L/min)	級 別	購 入 年 月 日	使用年数	備 考
消 防 署		シバウラ	31 ~ 54	高 圧 一 段 タ ー ビ ン	1,120	B 2	平 成 5 年 12 月 3 日	17	署 5 号 車 に 積 載 (横型 2 サイクル水冷式)
本 署 予 備 1		シバウラ	31 ~ 40	高 圧 一 段 タ ー ビ ン	1,200	B 3	昭 和 63 年 2 月 22 日	22	
本 署 予 備 2		シバウラ	31 ~ 40	高 圧 一 段 タ ー ビ ン	1,200	B 3	昭 和 59 年 7 月 30 日	26	
本 署 予 備 3		シバウラ	31 ~ 40	高 圧 一 段 タ ー ビ ン	1,200	B 3	昭 和 57 年 9 月 1 日	28	
女性消防団員用		ラビット	4	高 圧 一 段 タ ー ビ ン	240	D1	平 成 19 年 12 月 21 日	3	財団法人日本消防協会より寄贈
光 珠 内 分 団		シバウラ	31 ~ 40	高 圧 一 段 タ ー ビ ン	1,200	B 3	平 成 6 年 12 月 21 日	16	
西 美 唄 分 団		シバウラ	31 ~ 40	高 圧 一 段 タ ー ビ ン	1,200	B 3	平 成 4 年 11 月 10 日	18	
中 村 分 団		シバウラ	31 ~ 40	高 圧 一 段 タ ー ビ ン	1,200	B 3	平 成 5 年 10 月 25 日	17	
計		8 台							

(4) 消防水利の現有状況

区分 区域別		防 火 水 槽						消火栓(地上式)			
		計	木 造			鉄筋コンクリート					
			40m ³	40m ³	20m ³	40m ³	40m ³	20m ³	計	双 口	単 口
			以上	20m ³	未満	以上	20m ³	未満			
消 防 署	中 央 分 団	19				14	4	1	111	2	109
	旭 分 団	7				6	1		107		107
南美唄分団(南美唄分遣所)		13		1		10	2		47		47
峰延分団(峰延分遣所)		6				3	3		22	2	20
東 明 分 団		21		1	1	8	4	7	56	4	52
茶 志 内 分 団		6				4	2		43	6	37
光 珠 内 分 団		1				1			21	4	17
西 美 唄 分 団		1		1					13		13
中 村 分 団									8		8
計		74		3	1	46	16	8	428	18	410

2 救 助 活 動

(1) 救助出動件数及び活動件数

区 分 件 数	計	火 災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機 械 に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	そ の 他 の 事 故
		建 物	その他								
出 動 件 数	31			28							3
活 動 件 数	17			17							
救 助 人 員	24			24							

(2) 主な救助活動状況

日 時	場 所	事故 種別	救助 人員	使 用 器 材	出動車両種別	事 故 内 容
9月5日 5時10分	光珠内町北 専修大学入口付近 路上外	交通 事故	4	救助用担架 かぎ付き梯子	救助工作車 救急№1 救急№2 指揮車	国道を南進中の大型トラックが路外 に逸脱した単独事故。
10月21日 15時32分	光珠内町北 跨線橋	交通 事故	2	パイロン 輪止め	救助工作車 化学車 救急№1 救急№2 借上救急車	国道路側帯での人身事故により、は ね飛ばされた2名が路外に転落した もの。
11月28日 7時05分	大通西1条南7丁目付近	交通 事故	3	ホルマトロカッター かぎ付き梯子2基 2連梯子1基	救助工作車 化学車 救急№1 救急№2 指揮車	国道での乗用車同士の追突事故に より、1台が路外に転落したもの。
12月6日 20時11分	西1条北8丁目 国道12号線交差点路上	交通 事故	1	パイロン ボルトクリッパー 吸着マット6枚	タンク車 救急№1 救急№2 指揮車	国道交差点での乗用車同士の側面 衝突事故。

救 急



通信室

1 救 急 統 計

(1) 応急手当普及啓発活動状況

	普通救命講習		その他の救急講習	
平 成 2 1 年	22 回	308 人	15 回	583 人
累 計(平成6年以降)	286 回	4,834 人	290 回	10,430 人

(2) 月別出動状況

区分 月別	出 動 件 数	搬 送 件 数	不 搬 送 件 数	搬 送 人 員	事 故 種 別										
					火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
1 月	117	106	11	107				4	1	1	(1) 18	(1) 1	2	(3) 69	(6) 21
2 月	94	88	6	88				(1) 3	1	2	14		1	(1) 53	(4) 20
3 月	71	66	5	66				5			8		(1) 4	(2) 44	(2) 10
4 月	72	64	8	67				5			(1) 11		2	(3) 38	(4) 16
5 月	69	63	6	65	(1) 1			5			12		(1) 1	(2) 39	(2) 11
6 月	74	68	6	69				4	1		11	1	(1) 2	(1) 40	(4) 15
7 月	94	87	7	89				(1) 9			11	(1) 1	1	(1) 50	(4) 22
8 月	80	78	2	80				8	2		5		3	45	(2) 17
9 月	96	92	4	99				11	1	1	13		(2) 3	46	(2) 21
1 0 月	95	86	9	87			(1) 1	(1) 7	1		9		(1) 1	(2) 57	(4) 19
1 1 月	78	72	6	77	(1) 1			6	3		13		1	(1) 44	(4) 10
1 2 月	98	89	9	89				(1) 9		2	12		1	(2) 53	(6) 21
計	1038	959	79	983	(2) 2		(1) 1	(4) 76	10	6	(2) 137	(2) 3	(6) 22	(18) 578	(44) 203
比率	100%				0.2%		0.1%	7.3%	1.0%	0.6%	13.2%	0.3%	2.1%	55.7%	19.5%

(注)、() の数は内数とし、不搬送を示す。

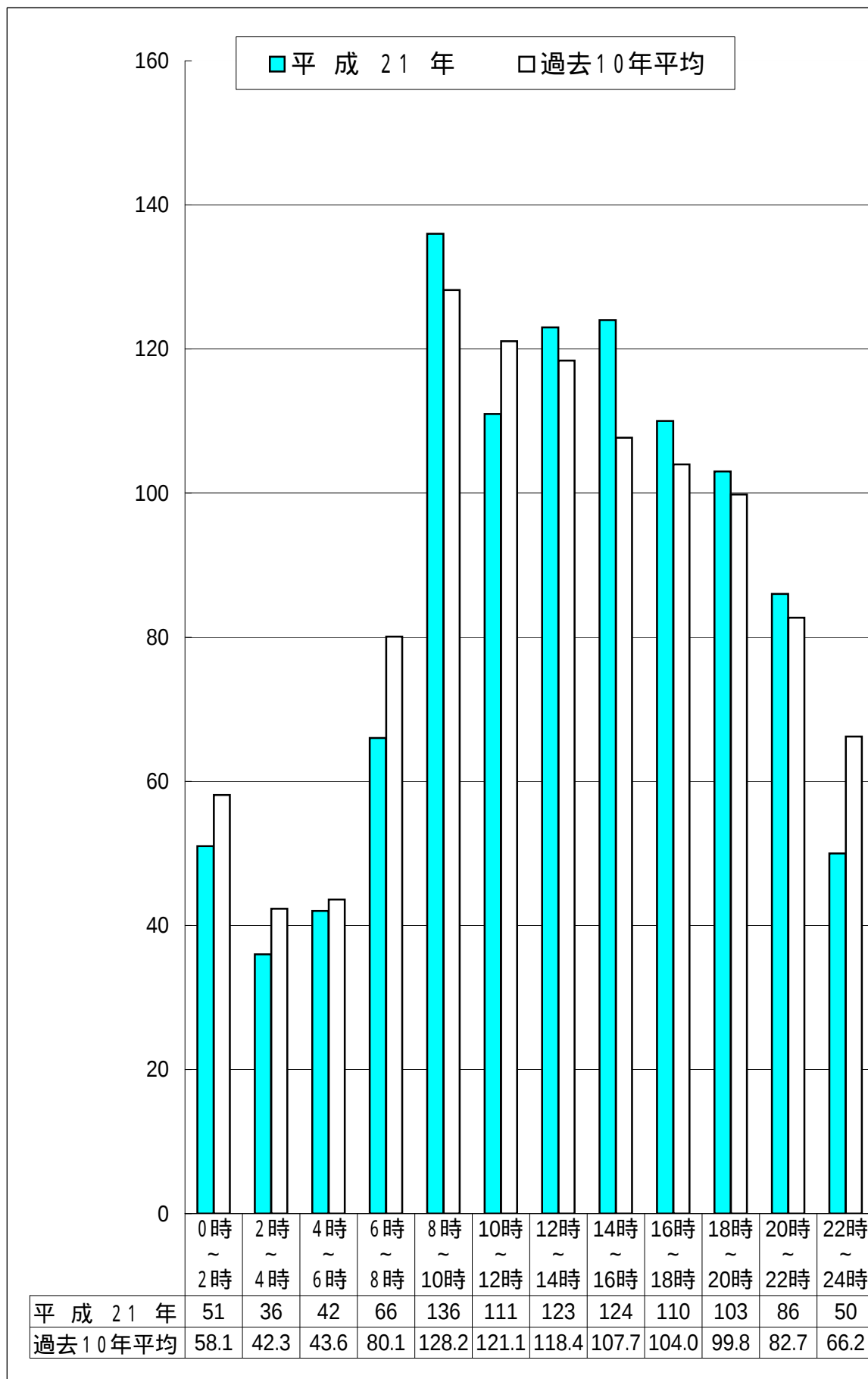
(3) 曜日別出勤状況

種 別 曜 日	計	比 率	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他
月	135	13.0%				7		1	23		1	80	23
火	155	14.9%			1	6	2		22		6	82	36
水	131	12.6%	1			15	2	1	19	1	1	73	18
木	154	14.9%	1			9	2	1	16	1	3	86	35
金	165	15.9%				9	1	2	29		5	85	34
土	141	13.6%				15	1	1	16		3	75	30
日	157	15.1%				15	2		12	1	3	97	27
計	1,038	100%	2		1	76	10	6	137	3	22	578	203

(4) 覚知別出勤状況

種 別 覚知別	計	比 率	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他
119番	789	76.0%	2		1	58	8	4	127	3	19	538	29
加入電話	215	20.7%				11	2	2	8		3	26	163
自己覚知													
駆け付け	1	0.1%				1							
緊急通報装置	25	2.4%							2			13	10
道路公団電話	1	0.1%				1							
その他	7	0.7%				5						1	1
計	1,038	100%	2		1	76	10	6	137	3	22	578	203

(5) 救急出場の時間別件数調



(6) 年齢区分別搬送人員状況

事故種別 年齢区分	計	比 率	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
新 生 児													
乳 幼 児	13	1.3%				4			3			5	1
少 年	39	4.0%				7		5	8			14	5
成 人	327	33.3%				66	9	1	39	1	12	151	48
老 人	604	61.4%				19	1		85		4	390	105
計	983	100.0%				96	10	6	135	1	16	560	159
比 率						9.8%	1.0%	0.6%	13.7%	0.1%	1.6%	57.0%	16.2%

(注) 新生児～生後28日以内
 少年～満7歳以上18歳未満
 老人～満65歳以上

乳幼児～生後29日以上満7歳未満
 成人～満18歳以上満65歳未満

(7) 傷病程度別搬送人員状況

事故種別 年齢区分	計	比 率	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
死 亡(人)	39	4.0%				3			2		1	32	1
重 傷(人)	107	10.9%				3	1		17		1	44	41
中等傷(人)	397	40.4%				14	4	1	54		10	224	90
軽 傷(人)	440	44.7%				76	5	5	62	1	4	260	27
その他(人)													
計	983	100.0%				96	10	6	135	1	16	560	159
比 率						9.8%	1.0%	0.6%	13.7%	0.1%	1.6%	57.0%	16.2%

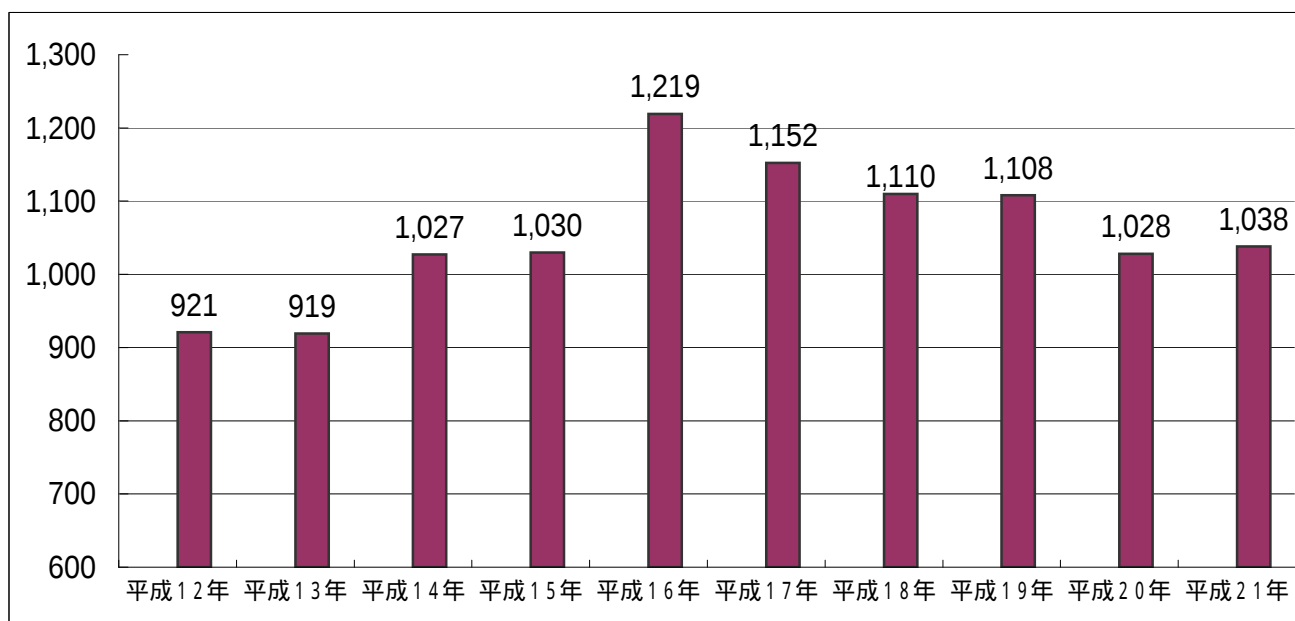
(注) 死 亡～初診時において死亡確認
 中等傷～重傷又は軽傷以外のもの
 その他～傷病程度がないもの

重傷～3週間以上の入院加療をしたもの
 軽傷～入院加療無し

(8) 過去10年間の出勤状況

区分 年別	出 場 件 数	搬 送 件 数	不 搬 送 件 数	搬 送 人 員	事 故 種 別										
					火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
平成12年	921	867	54	914	2			97	11	3	105	6	11	591	95
平成13年	919	861	58	887	2			71	7	1	121	8	13	587	109
平成14年	1,027	951	76	992				106	10	2	124	7	16	654	108
平成15年	1,030	978	52	1,014				83	3	1	124	4	19	655	141
平成16年	1,219	1,155	64	1,191	2	2	3	79	6	6	143	8	21	757	192
平成17年	1,152	1,093	59	1,127	3		1	78	16	3	144	1	20	732	154
平成18年	1,110	1,044	66	1,070				91	8	8	145	3	13	665	177
平成19年	1,108	1,053	55	1,072	2		1	71	6	7	132	4	13	705	167
平成20年	1,028	946	82	961	1		1	63	6	4	131	4	12	597	209
平成21年	1,038	959	79	983	2		1	76	10	6	137	3	22	578	203
合 計	10,552	9,907	645	10,211	14	2	7	815	83	41	1,306	48	160	6,521	1,555

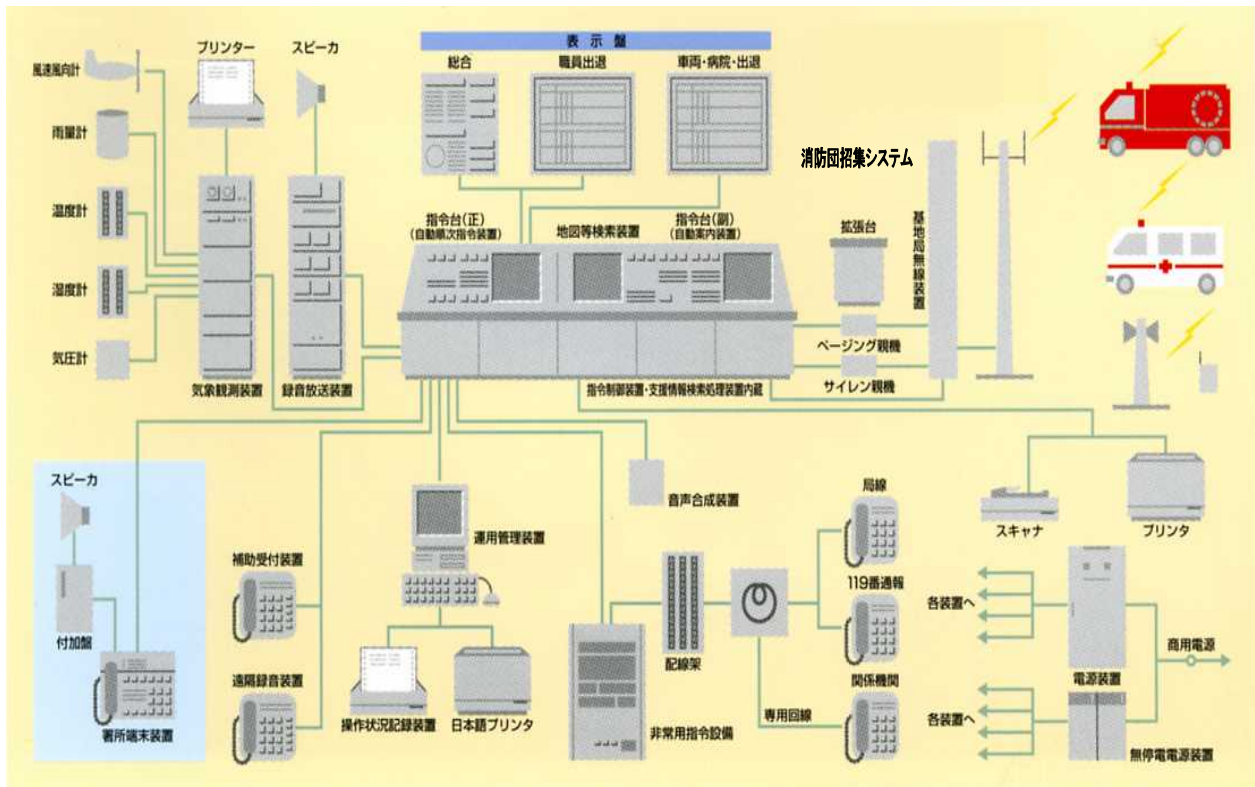
出勤件数推移表



2 消防通信施設

(1) 消防緊急通信指令施設

ア システム構成図



イ 機器構成

1	指令装置	1	5	災害状況等自動案内装置	1
	(1) 指令台		6	順次指令装置	1
	(2) 録音装置		7	気象観測装置	1
	(3) 非常用指令設備		8	音声合成装置	1
	(4) 指令制御装置		9	拡張台	1
	(5) 電源装置		10	基地局無線機	3
2	(6) 署所端末装置	2	10	(1) 無線装置	3
	端末装置			(2) 空中線設備	3
				(3) 遠隔制御器	3
	表示板		11	ページングシステム	1
	(1) 職員出退表示板			(1) 受令機選択呼出装置(親機)	1
	(2) 車両・病院・出退表示板			(2) 受令機(子機)	60
	(3) 情報表示板			(3) 充電器	60
3	支援情報用検索処理装置	1	12	データ修正装置	1
	(1) 制御処理装置		13	サイレン吹鳴装置	1
	(2) コンソールディスプレイ			(1) サイレン親制御器	1
	(3) 日本語プリンター			(2) サイレン子制御器	7
	(4) 補助記憶装置		14	消防団招集システム	1
	(5) 外部記憶装置				
	(6) 日本語ディスプレイ				
4	(7) 無停電電源装置(CVCF)	1			
	地図等検索装置				

(2) 消防無線の概要

種 別	配 置 別	呼 出 名 称	CH数	出力(W)
基 地 局	超短波無線電話 美唄市消防本部	びばいしょうぼう	3	10
陸 上 移 動 局	水 槽 車 (1号車)	びばい 1	3	
	化 学 車 (3号車)	びばい 3	6	
	救 助 工 作 車 (4号車)	びばい 4	3	
	移 動 水 槽 車 (5号車)	びばい 5	3	
	は し ご 車 (6号車)	びばい 6	6	
	器 具 車	びばい 7	3	
	署 予 備	びばい 8	3	
	査 察 車	びばいささつ	3	
	指 揮 車	びばいしき	3	
	救 急 車 (No1)	びばいきゅうきゅう 1	6	
	救 急 車 (No2)	びばいきゅうきゅう 2	3	
	中 央 分 団 車 (2号車)	びばい 2	3	
	旭 分 団 車	あさひ 1	1	
	東 明 分 団 車	とうめい 1	1	
	南 美 唄 分 団 車	みなみびばい 1	1	
	光 珠 内 分 団 車	こうしゅない 1	1	
	峰 延 分 団 車	みねのぶ 1	2	
	西 美 唄 分 団 車	にしびばい 1	1	
	中 村 分 団 車	なかむら 1	1	
	茶 志 内 分 団 車	ちゃしない 1	1	
	1 号 車 積 載	びばい 21	3	
	5 号 車 積 載	びばい 22	3	
	予 防 課 携 帯	びばい 23	3	
	消 防 署 予 備	びばい 25	1	1
	非常災害用(予備)	びばい 26	1	10
	警 防 課 長 用 携 帯	びばい 101	6	5
	救 急 車 積 載 (No2)	びばい 102	6	
	警防課長補佐用携帯	びばい 103	6	
	4 号 車 積 載	びばい 104	6	
	署 長 用 携 帯	びばい 105	6	
	4 号 車 積 載	びばい 106	3	
	救 急 車 積 載	びばい 107	3	
	3 号 車 積 載	びばい 108	3	
固 定 局 (団員指令・ サイレン吹鳴・ ページングシ ステム)	東 明 分 団	とうめいぶんだん	1	0.01
	南 美 唄 分 団	みなみびばいぶんだん	1	0.01
	光 珠 内 分 団	こうしゅないぶんだん	1	0.1
	峰 延 分 団	みねのぶぶんだん	1	1
	西 美 唄 分 団	にしびばいぶんだん	1	0.01
	中 村 分 団	なかむらぶんだん	1	0.1
	茶 志 内 分 団	ちゃしないぶんだん	1	0.01
特定小電力無線機	消 防 隊 員 用 (31台)		1	0.01

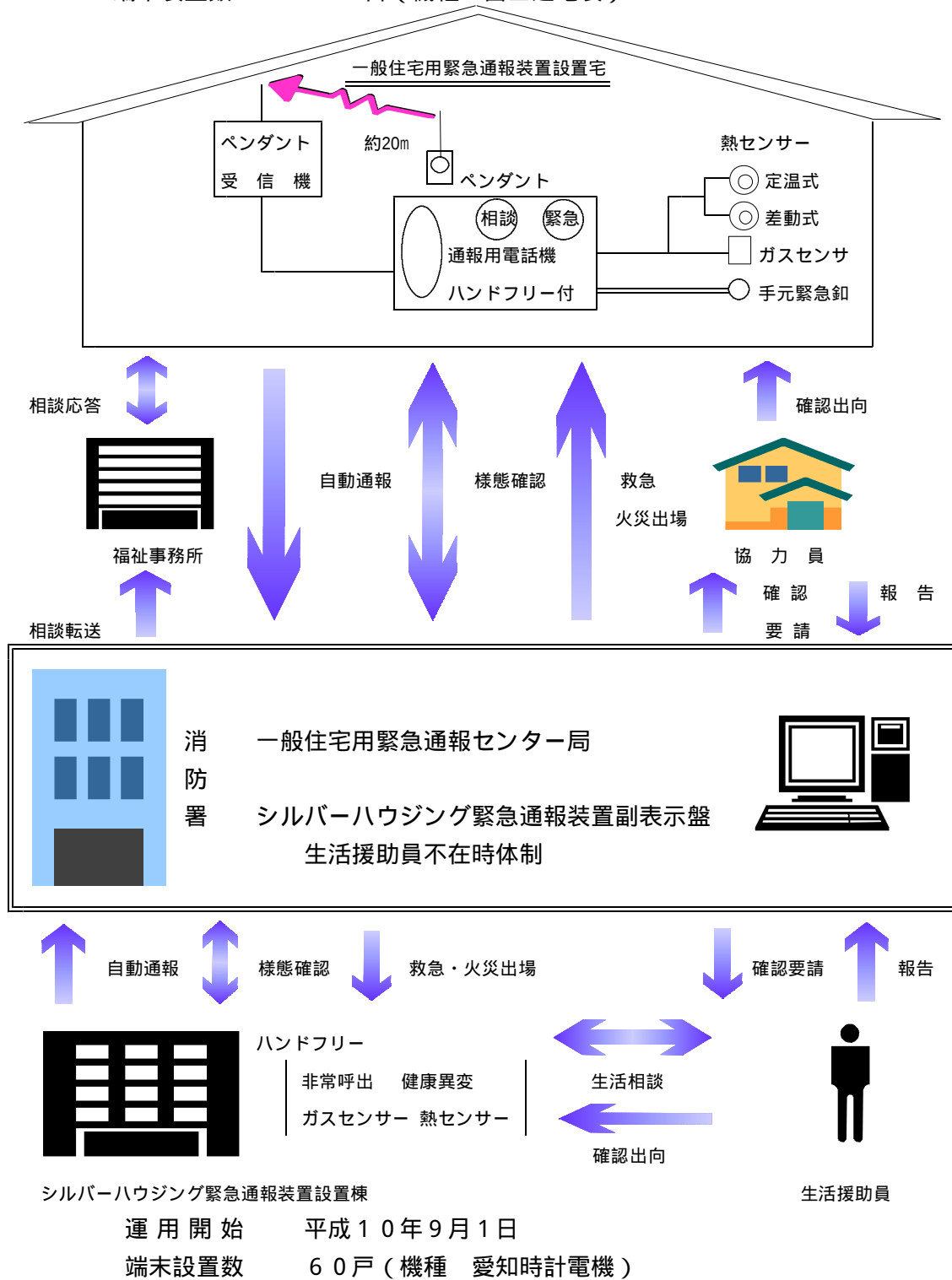
地方波1 ~ 151.21・地方波2 ~ 153.31・全国共通波 ~ 150.73

全国共通波2 ~ 148.75・全国共通波3 ~ 154.15・防災波 ~ 158.35

3 緊急通報装置

利用者宅の緊急通報用電話機等と消防署通信指令室を直接電話回線で結ぶことにより、災害、事故、急病その他緊急時における救護活動の迅速化を図り、一人暮らしのお年寄りや身体の不自由な方等の生活不安を解消する。

運用開始 平成2年12月14日
 端末装置数 229台（機種 富士通電装）



(1) 一般住宅用緊急通報装置受信状況

種 別 \ 月 別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
緊 急 釦	43	4	4	4	4	4	5	5	3	2	5	1	2
手 元 緊 急 釦	7					1		1			2	1	2
ペ ン ダ ント	21	1	1	1	1	2	2	2	4	3	3		1
火災センサー	2			1				1					
ガスセンサー	64					6	13	15	16	7	5		2
停 電	244	10	41	38	7	3	30	21	57	10	9	11	7
相 談 釦	27	1	4	5	4	2	3	2	3	1	1		1
合 計	408	16	50	49	16	18	53	47	83	23	25	13	15

(2) シルバーハウジング緊急通報装置受信状況

種 別 \ 月 別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
非 常 呼 出	11			3	2	1	1			1	1	2	
健 康 異 変	14	5		1			1	2	2	1	1	1	
ガ ス 漏 れ	8				1	2	4	1					
火 災	0												
共 用 火 災	0												
合 計	33	5	0	4	3	3	6	3	2	2	2	3	0

(3) 緊急通報装置受信内容状況(シルバーハウジングを含む)

種 別 \ 月 別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
救 急 車 出 場	25	4	2	2	3		2	2	2	1	2	2	3
消 防 車 出 場	24	1		4	1	3	5		2	4		2	2
電 話 対 応	372	14	45	42	11	18	51	47	79	19	24	12	10
協 力 員 依 頼	7	2	1		1				1	1	1		
福 祉 へ 転 送	13		2	5	3		1	1	1				
そ の 他													
合 計	441	21	50	53	19	21	59	50	85	25	27	16	15

(4) 地区別設置状況(シルバーハウジング含む)

地区別 \ 区 分	合 計	母 町 ・ 東 北	母 町 ・ 東 南	母 町 ・ 西 北	母 町 ・ 西 南	葵 巳	沼 の 内	東 明	我 路	南 美 唄	進 徳 内	光 珠 延	峰 美 唄	西 村	中 志 内	茶 志 東	日 東
独 居	242	27	67	29	16			17		32	4	8	14		4	15	9
家 族 と 同 居	33	2	16	6				3		1	1	1	1			2	
6 5 歳 未 満	11	1	2					7					1				
シルバ－ハウジ'ング'未入居	3		3														
計	289	30	88	35	16	0	0	27	0	33	5	9	16	0	4	17	9
身 体 障 害 者 世 帯	59	9	10	4	6			13		6		4	1		1	4	1
ペ－スメ－カー使用者	6	2	2		1											1	

4 気 象 記 録

(消防署調べ 参考データ)

月 別 区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均又は計
温 度	最 高	8.8	4.8	12.9	22.8	28.8	29.9	30.6	33.6	25.9	22.5	19.5	8.0	
	最 低	-16.0	-16.4	-10.8	-4.5	-0.8	9.6	11.3	12.0	4.9	0.8	-4.7	-17.4	
	平 均	-3.5	-4.0	0.2	6.4	13.5	16.9	19.2	20.8	16.4	10.8	3.3	-3.1	8.2
湿 度 %	最 低	46.0	40.9	31.6	16.7	13.9	35.7	38.9	44.0	33.5	36.4	43.3	41.2	
	平 均	79.2	77.9	73.8	62.3	67.6	81.6	87.6	81.7	79.6	77.9	83.2	78.1	70.9
風 速 m / s	最 大	18.5	19.2	21.4	16.4	18.3	17.4	12.8	15.1	11.7	15.8	15.0	16.0	
	平 均	1.7	1.6	2.0	1.9	2.2	1.9	1.5	1.7	1.6	1.9	1.7	1.8	1.8
	主な風向	SSE	W	WNW	NE	WNW	SSW	SSW	SW	SW	SW	SW	SW	
降雨日数					9	9	10	16	11	11	18	18		102
雨量(mm)					43.5	45.4	108.0	275.5	38.0	82.0	169.0	135.0		896.4
降雪日数		15	23	11								8	17	74
降雪量(cm)		90	128	31								62	153	464
積 雪 量 cm	最 高	47	44	32								15	48	
	最 低	8	8	1									1	
備 考		平成20年11月4日から平成21年3月26日までの降雪量 483cm 冬期間降水計停止												

予 防



中村みのり保育所幼年消防クラブ

1 予 防 統 計

(1) 指定防火対象物状況

政令別表 第1の区分		法 第 1 7 条 第 1 項 指 定 防 火 対 象 物	火 災 予 防 条 例 指 定 防 火 対 象 物	法 第 8 条 第 1 項 該 当 防 火 対 象 物	防 火 管 理 者 選 任 防 火 対 象 物	消 防 計 画 届 出 防 火 対 象 物
区 分						
1	イ 劇場、映画館	3		3	2	2
	ロ 公会堂、集会場	24		24	22	22
2	イ キャバレー、カフェ	0		0	0	0
	ロ 遊技場、ダンスホール	4		4	4	4
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗	0		0	0	0
	ニ カラオケボックスその他	1		1	1	1
3	イ 待合、料理店その他	0		0	0	0
	ロ 飲食店	27	2	25	21	21
4	百貨店、マーケット その他	45		27	23	23
5	イ 旅館、ホテル又は宿泊所	6		5	4	4
	ロ 寄宿舍、下宿、共同住宅	236	4	22	21	21
6	イ 病院、診療所、助産所	14		9	9	9
	ロ 老人短期入所施設、養護老人ホーム、介護老人保健施設等	17		17	17	17
	ハ 老人デイサービスセンター、老人福祉センター、保育所等	46		18	18	18
	ニ 幼稚園、特別支援学校	7		7	7	7
7	小・中・高・大学校、各種学校	39		37	37	37
8	図書館、博物館、美術館	4		4	3	3
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場 その他	0		0	0	0
	ロ 公衆浴場	2		1	1	1
10	車両の停車場	0		0	0	0
11	神社、寺院、教会	49		38	34	34
12	イ 工場、作業所	178	10	23	23	23
13	イ 自動車車庫、駐車場	27	1	4	4	4
	ロ 飛行機又は回転翼飛行機の格納庫	1		0	0	0
14	倉庫	192		4	4	4
15	前各号に該当しない事業所	76		24	22	22
16	イ 特定防火対象物の用途が存する複合用途防火対象物	65	3	39	35	35
	ロ イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	21	4	3	2	2
17	文化財	2		1	1	1
計		1,086	24	340	315	315

(2) 建築同意処理状況

ア 工事別同意状況

工事別 \ 月 別	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
新 築	14			1			2		1	5	3	1	1
増 築	4		1						1			2	
改 築	0												
そ の 他	2			1				1					
合 計	20	0	1	2	0	0	2	1	2	5	3	3	1

イ 用途別同意状況

用途別 \ 月 別	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
専 用 住 宅	0												
集 会 場	1							1					
飲 食 店	0												
店 舗	1						1						
旅 館	0												
共 同 住 宅	1			1									
診 療 所	0												
特別養護老人ホーム	1			1									
知的障害者厚生施設	0												
博物館その他これらに類するもの	0												
寺 院	2											2	
工 場	2										1	1	
倉 庫	1									1			
事 務 所	1						1						
車 庫	0												
複 合 用 途	1		1										
そ の 他	9								2	4	2		1
合 計	20	0	1	2	0	0	2	1	2	5	3	3	1

(3) 中高層建築物の状況(4階以上)

用途別		階 別	計	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階
3項口	飲 食 店 等		1		1			
5項イ	旅 館 ・ ホ テ ル 等		0					
5項口	共 同 住 宅 等		27	12	9	3	1	2
6項イ	病 院 等		5	2	2	1		
7項	学 校 等		6	5	1			
15項	事 業 所 等		2	2				
16項イ	複 合 用 途		4	1	3			
計			45	22	16	4	1	2

(4) 広報・広聴実施状況

広 報 区 分		回 数
巡 回 広 報	火 災 予 防 運 動 中	72
	歳 末 特 別 警 戒	21
	一 般 広 報 ・ そ の 他	295
放 送 関 係	有 線 放 送 等	0
	新 聞 ・ 広 報 紙 等	12
そ の 他	防 火 相 談 等	8
	街 頭 宣 伝 等	1
計		409
美唄市公式webサイトにて「消防からの情報」を掲示		

(5) 予防活動状況

種 別	実 施 回 数	人 数
防 火 講 演	2	28
防 火 映 画	11	522
消 火 器 取 扱 指 導	21	1,068
避 難 訓 練	84	6,971

(6) 消防法・火災予防条例届出等の処理状況

消 防 法 関 係	件 数	火 災 予 防 条 例 関 係	件 数
防 火 管 理 者 選 ・ 解 任 届 出	51	使 用 開 始 届 出	17
消 防 計 画	49	ボ イ ラ ー 等 設 置 届 出	2
消 防 用 設 備 等 着 工 届 出	19	発 電 ・ 変 電 等 設 置 届 出	5
消 防 用 設 備 等 設 置 届 出	20	煙 火 打 上 げ 届 出	19
消 防 用 設 備 点 検 報 告	262	揚 煙 等 行 為 届 出	11
防 火 対 象 物 定 期 点 検 報 告	16	少 量 危 険 物 貯 蔵 等 届 出	22
液 化 石 油 ガ ス 等 届 出	0	指 定 可 燃 物 貯 蔵 等 届 出	0
そ の 他 届 出	0	そ の 他 届 出	15
計	417	計	91

(7) 防火団体設立状況

ア 危険物安全協会

団 体 名	設 立 年 月 日	会 員 数
美 唄 市 危 険 物 安 全 協 会	昭和40年 7月11日	60

イ 幼年消防クラブ

団 体 名	設 立 年 月 日	ク ラ ブ 員 数
西 美 唄 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	平成 3年 6月28日	21
茶 志 内 双 葉 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	平成 4年 6月 8日	19
進 徳 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	平成 4年 6月10日	45
峰 延 保 育 所 幼 年 消 防 ク ラ ブ	平成 4年 7月 1日	27
中 村 み の り 保 育 所 幼 年 消 防 ク ラ ブ	平成 4年 7月15日	24

ウ 婦人防火クラブ

団 体 名	設 立 年 月 日	ク ラ ブ 員 数
中 村 婦 人 防 火 ク ラ ブ	昭和57年 1月25日	16

2 危険物統計

(1) 危険物施設状況

地域別 製造所等の区分			計	母 町	東 明 町	北 美 唄・沼 の 内 町	南 美 唄 町	進 徳 町	光 珠 内 町	峰 延 町	開 発 ・ 上 美 唄 町	西 美 唄 町	中 村 町	癸巳・茶志内・日東町
製 造 所			2						2					
貯 蔵 所	屋 内		16	9			1		5		1			
	屋 外 タ ン ク		27	8	1	1	4		3	1	2	1		6
	屋 内 タ ン ク		7	3					1					3
	地 下 タ ン ク		75	42	3	1	2	5	5	6	2	2	2	5
	簡 易 タ ン ク		0											
	移 動 タ ン ク		68	21	2		6	3		20		5		11
	屋 外		10	7					2					1
	小 計		203	90	6	2	13	8	16	27	5	8	2	26
取 扱 所	給 油	営 業 用	10	6				2		1		1		
		自 家 用	12	3	1		2	2		1				3
	販 売		0											
	一 般		48	20	2		4	4	11	1	2	1	1	2
	小 計		70	29	3		6	8	11	3	2	2	1	5
合 計			275	119	9	2	19	16	29	30	7	10	3	31

(2) 危険物申請等処理状況

区 分 申請等種別	計	製造所	貯 蔵 所							取 扱 所		
			屋内	屋外 タンク	屋内 タンク	地下 タンク	簡易 タンク	移動 タンク	屋外	給油	一般	販売
設 置 許 可 申 請	3			1				1			1	
変 更 許 可 申 請	2							2				
完 成 検 査 前 検 査 申 請	1			1								
完 成 検 査 申 請	5			1				3			1	
仮 使 用 承 認 申 請	0											
仮 貯 蔵 取 扱 承 認 申 請	0											
譲 渡 引 渡 届	4					1		3				
廃 止 届	7		1			3		2		1		
品 名 ・ 数 量 変 更 届	4		1					2			1	
保 安 監 督 者 選 解 任 届	10	1	2	1	1						5	
変 更 届	8			1		2				4	1	
変 更 通 知	0											
そ の 他 の 届	5					3					2	
合 計	49	1	4	5	1	9		13		5	11	

(3) 危険物製造所等倍数別設置状況

施設別 倍数別			施設数	5 倍 以下	5 倍 を 超 え 1 0 倍 以下	1 0 倍 を 超 え 5 0 倍 以下	5 0 倍 を 超 え 1 0 0 倍 以下	1 0 0 倍 を 超 え 1 5 0 倍 以下	1 5 0 倍 を 超 え 2 0 0 倍 以下	2 0 0 倍 を 超 え 千 倍 以下	千 倍 を 超 え る もの	
製造所			2		1					1		
貯蔵所	屋内		16	8	2	1	2		2	1		
	屋外タンク		27	5	4	12	5			1		
	屋内タンク		7	2	5							
	地下タンク		75	51	12	10	2					
	簡易タンク		0									
	移動タンク		68	42	6	2	18					
	屋外		10		8	1	1					
	小計		203	108	37	26	28		2	2		
取扱所	給油	営業用	10			1	3	1	2	3		
		自家用	12	3	2	7						
	販売所	販売		0								
		一般		48	23	14	8	2			1	
		小計		70	26	16	16	5	1	2	4	
合計			275	134	54	42	33	1	4	7		

3 火 災 概 要

(1) 火災発生状況

= 減少

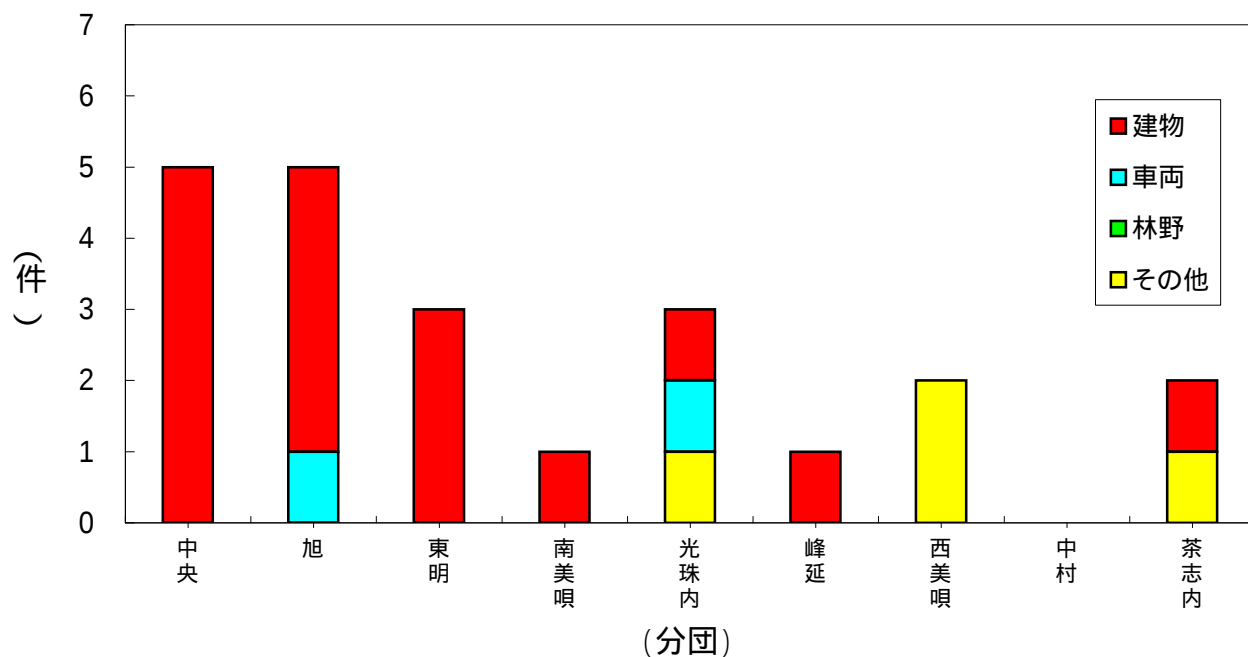
区 分			平成21年	平成20年	比 較
火 災 件 数			22	19	3
種 別	建 物		16	10	6
	林 野		0	0	0
	車 両		2	2	0
	そ の 他		4	7	3
損 害 (千 円)			6,936	4,170	2,766
種 別	建 物		6,070	2,832	3,238
	林 野		0	0	0
	車 両		866	109	757
	そ の 他		0	1,229	1,229
焼 損 面 積	建 物 (㎡)	床 面 積	226	573	347
		表 面 積	1	13	12
焼 損 棟 数			17	10	7
り 災 世 帯 数			13	7	6
林 野 (a)			0	0	0
死 者			1	1	0
負 傷 者			0	0	0
出 火 率			8.2%	7.0%	1.2%

出火率 = 人口1万人当りの出火件数

(2) 管轄別火災発生状況

火 災 管 轄	合 計		建 物		林 野		車 両		そ の 他	
	件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)
合 計	22	6,936	16	6,070			2	866	4	
中 央	5	163	5	163						
旭	5	4,814	4	4,778			1	36		
東 明	3	703	3	703						
南 美 唄	1	187	1	187						
光 珠 内	3	960	1	130			1	830	1	
峰 延	1	61	1	61						
西美唄	2								2	
中 村										
茶 志 内	2	48	1	48					1	

管轄別グラフ



(3) 月別火災状況

区分 月 別	火 災 件 数								焼 損 棟 数	り 災		死 傷 者		焼 損 面 積		損 害 額 (千円)
	計	建 物				林 野	車 両	そ の 他		世 帯 数	人 員	死 者	負 傷 者	建 物 (㎡)	林 野 (a)	
		全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や									床面積		
1 月	1				1				1	1	3			0.27		145
2 月	1			1					1	1	1			3.68		61
3 月	2				1		1		1	1	16			0.65		900
4 月	5	1			4				6	5	62			185.70		4,233
5 月	6		1	1	1			3	3	3	3	1		33.45 0.30		825
6 月																
7 月																
8 月																
9 月																
10 月	5				4			1	4	1	8			0.86		275
11 月	2			1			1		1	1	6			1.62		497
12 月																
計	22	1	1	3	11		2	4	17	13	99	1		225.58 0.95		6,936

(4) 出火原因別火災状況

区分 原因別	火災件数								焼 損 棟 数	り災		死 傷 者 負 傷 者	焼損面積		損 害 額 (千円)	
	計	建 物				林 野	車 両	そ の 他		世 帯 数	人 員		建 物 (㎡) 床面積 表面積	林 野 (a)		
たばこ	3		1	1	1				3	3	5	1		33.72		783
ごみ焼き等	3							3								
こんろ	1				1				1	1	8			0.86		97
火あそび																
ストーブ・風呂釜	0															
溶接機・溶断機	0															
電気関係	4	1		1	1		1		4	3	19			189.38 0.65		4,307
放火・疑放火	4				4				4	4	60					93
不明	1							1								
その他	6			1	4		1		5	2	7			1.62 0.30		1,656
調査中	0															
計	22	1	1	3	11		2	4	17	13	99	1		225.58 0.95		6,936

(5) 出火時刻別火災状況

区 分 出 火 刻	火 災 件 数								焼 損 棟 数	り 災		死 傷 者		焼 損 面 積		損 害 額 (千円)
	計	建 物				林 野	車 両	そ の 他		世 帯 数	人 員	死 者	負 傷 者	建 物 (㎡)	林 野 (a)	
		全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や									床面積		
														表面積		
0 ~ 1																
1 ~ 2																
2 ~ 3	1				1				1	1	16			0.65	70	
3 ~ 4																
4 ~ 5																
5 ~ 6																
6 ~ 7	1				1				1						48	
7 ~ 8	2		1					1	1	1	1			30.21	541	
8 ~ 9	2	1			1				3	2	10			186.56	4,237	
9 ~ 10	3				1		1	1	1						830	
10 ~ 11																
11 ~ 12	3				2			1	2	1	1			0.30	317	
12 ~ 13	1						1								36	
13 ~ 14	1			1					1	1	6			1.62	461	
14 ~ 15	2			1	1				2	2	4			3.95	206	
15 ~ 16	1							1								
16 ~ 17																
17 ~ 18																
18 ~ 19																
19 ~ 20																
20 ~ 21																
21 ~ 22																
22 ~ 23																
23 ~ 24																
出火時刻不明	5			1	4				5	5	61	1		3.24	190	
計	22	1	1	3	11		2	4	17	13	99	1		225.58 0.95	6,936	

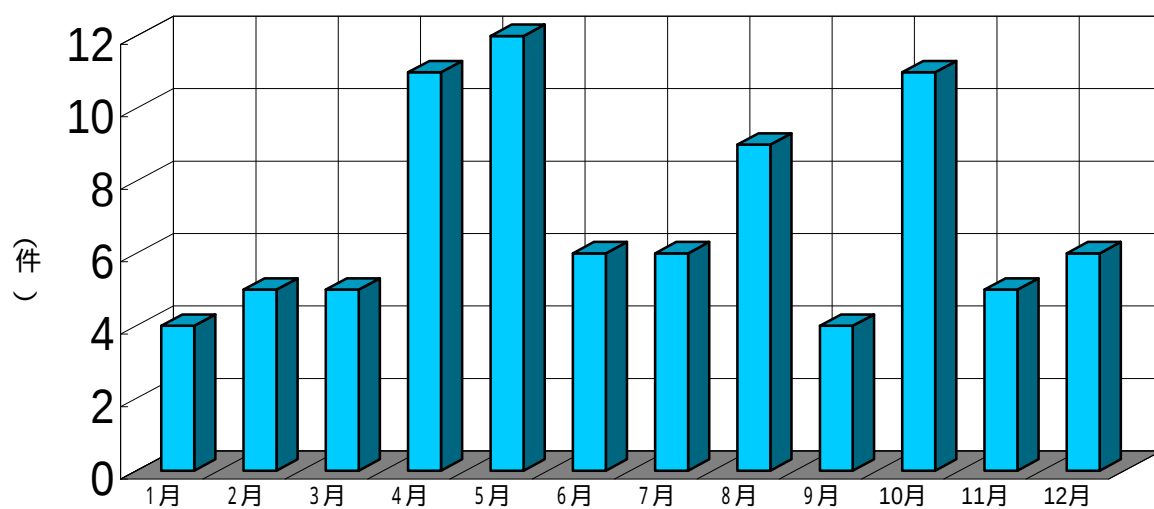
(6) 過去5年間の火災状況

区 分 / 単 位 / 年 別			平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	
出 火 件 数	計		件	17	14	15	19	22
	建	物		8	6	9	10	16
	林	野		0	0	1	0	0
	車	両		4	4	1	2	2
	そ	の 他		5	4	4	7	4
焼 損 棟 数			棟	9	6	10	10	17
焼 損 面 積	建 物	床 面 積	㎡	657	323	3,110	573	226
		表 面 積		65	2	8	13	1
	林 野		a	0	0	483	0	0
死 者			人	1	1	2	1	1
負 傷 者				2	0	3	0	0
り 災 世 帯			世帯	6	3	4	7	13
り 災 人 員			人	14	6	15	10	99
損 害 額			千円	23,916	7,446	168,177	4,170	6,936
1 件 当 り 焼 損 面 積 (建 物)			㎡	82	54	346	57	14
1 件 当 り 損 害 額			千円	1,407	533	11,212	219	315
市 民 1 人 当 り 損 害 額			円	818	260	6,006	153	259
1 世 帯 当 り 損 害 額				1,799	564	12,908	324	543

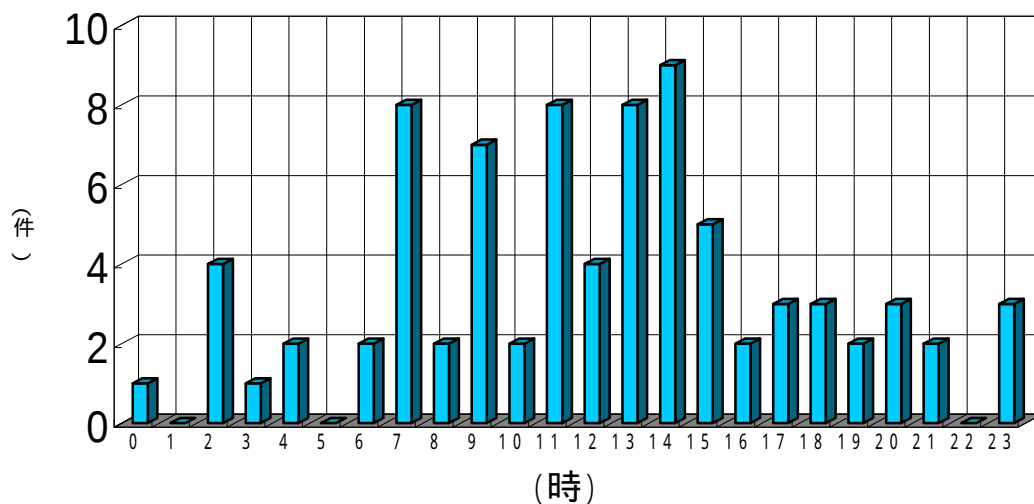
(7) 過去5年間の火災原因別分類

原因別 \ 年 別	計 (件)	平成17年 (件)	平成18年 (件)	平成19年 (件)	平成20年 (件)	平成21年 (件)
た ば こ	11	1	0	3	4	3
ご み 焼 き 等	12	2	1	2	4	3
ラ イ タ ー ・ マ ッ チ	1	0	1	0	0	0
火 あ そ び	4	1	0	1	2	
ス ト ー プ ・ 風 呂 釜	1	1	0	0	0	0
溶 接 機 ・ 溶 断 機	2	0	0	2	0	0
煙 突 ・ 煙 道	1	1	0	0	0	0
電 気 関 係	12	1	4	1	2	4
放 火 ・ 疑 放 火	9	3	2	0	0	4
不 明	5	1	0	2	1	1
そ の 他	29	6	6	4	6	7
調 査 中	0	0	0	0	0	0
計	87	17	14	15	19	22

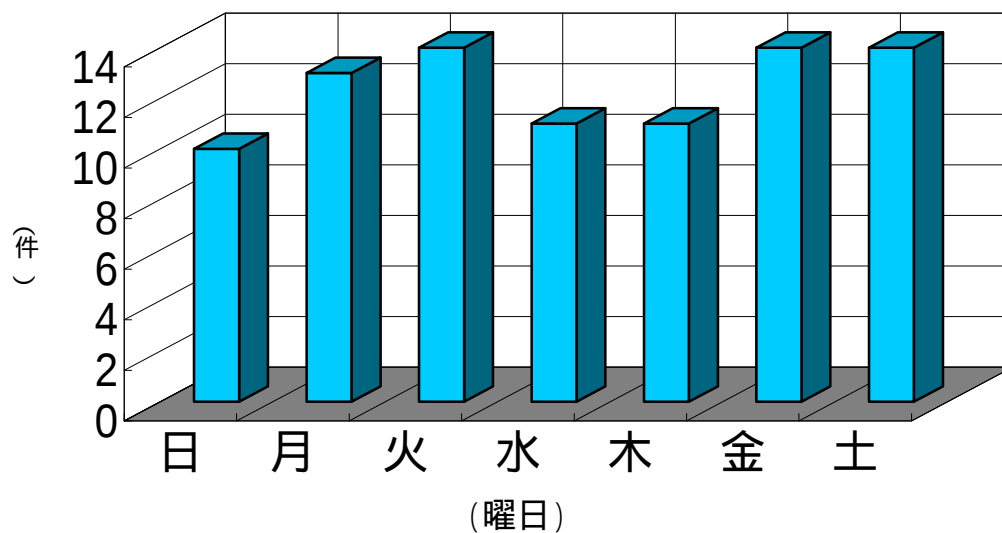
(8) 過去5年間の月別発生状況



(9) 過去5年間の時刻別発生状況



(10) 過去5年間の曜日別発生状況



(11) 消防本部発足以来の火災件数の経過(昭和25年～51年)

区 分 年 別	火 災 件 数					焼 損 棟 数	り 災 世 帯	焼損面積	損 害 額 (千円)	建 物	1件当り	死傷者		
	計	建 物						建物(m ²) 床面積		1件当り	損害額 (千円)	死 者	負 傷 者	
		全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や					焼損面積 (m ²)				
昭和25	35	14		19		2	39	64	2,317	11,963	70	342		
26	40	12		28			47	57	5,507	46,839	138	1,171		1
27	43	13		24		6	52	49	1,909	13,747	52	320		2
28	42	20		19		3	61	83	4,169	36,166	107	861	3	3
29	27	14		10		3	34	48	3,767	115,553	157	4,280		9
30	28	9	3	14		2	26	20	2,304	13,701	89	489		13
31	32	14	2	12		4	48	38	4,190	51,468	150	1,608	3	12
32	28	9	1	18			35	36	1,784	19,253	64	688		
33	35	15	3	14		3	55	68	4,289	28,844	134	824		
34	22	11	3	5		3	24	22	1,806	15,412	95	701		8
35	34	16	5	12		1	44	29	4,041	43,061	122	1,267		13
36	27	18	2	4		3	35	18	2,126	16,164	89	599		3
37	27	18	2	7			37	27	2,849	16,867	106	625		6
38	30	12	6	8		4	39	23	4,400	17,768	169	592	1	8
39	35	16	4	11		4	36	26	4,905	29,180	158	834	4	8
40	29	14	5	7		3	41	31	3,705	21,890	143	755		7
41	28	15	5	7		1	28	12	1,936	12,158	72	434	2	3
42	20	9	5	5		1	22	15	1,861	11,623	98	581	2	6
43	25	17	4	3		1	32	23	3,186	15,380	133	615		
44	25	16	2	7			28	12	2,196	15,711	88	628	2	3
45	26	13	5	6		2	29	35	2,193	27,316	91	1,051	2	10
46	22	9	5	8			27	24	2,175	22,316	99	1,014	10	5
47	15	7	3	4		1	14	22	4,373	9,386	312	626		2
48	27	15	5	4		3	30	32	2,201	30,694	92	1,137	3	
49	16	8		7		1	36	26	7,745	124,495	516	7,781	1	1
50	13	9		4			14	9	1,452	25,197	112	1,938		2
51	14	8	4	1		1	15	9	4,466	136,711	344	9,765	2	2

(昭和52年～平成16年)

区 分 年 別	火 災 件 数					焼 損 棟 数	り 災 世 帯	焼損面積	損 害 額 (千円)	建 物 1件当り 焼損面積 (㎡)	1件当り 損害額 (千円)	死傷者		
	計	建 物						建物(㎡)				死者	負傷者	
		全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や									
														建物以外
昭和52	17	8	1	6		2	17	20	1,756	30,199	117	1,776	2	4
53	10	4	2	4			10	8	1,977	39,493	198	3,949		3
54	17	10		7			18	26	2,109	53,257	124	3,133	3	8
55	13	7	5	1			14	13	1,387	36,912	107	2,839		6
56	10	2	2	4		2	9	3	1,111	45,271	139	4,527	1	3
57	12	9	1	2			17	16	3,222	115,357	269	9,613	1	3
58	18	12	3	3			20	16	2,237	89,222	124	4,957	6	6
59	9	8	1				9	13	864	21,687	96	2,410	1	1
60	15	10	3	2			14	13	1,559	54,285	104	3,619	6	3
61	12	7	2	3			15	9	1,194	68,796	100	5,733	1	2
62	11	6	2	2		1	10	6	730	33,782	73	3,071	1	1
63	17	4	1	7		5	14	9	631	15,334	53	902	1	3
平成 元	19	9	1	8		1	19	12	1,622	58,420	90	3,075	1	3
2	10	5		3		2	8	7	818	28,582	102	2,858		1
3	21	8	2	6		5	19	10	1,208	51,979	76	2,475	2	4
4	12	4	2	4		2	10	8	536	25,366	54	2,114		1
5	19	2	2	3		12	10	9	290	16,886	41	889	2	7
6	8	1				7	1		50	2,564	50	321		1
7	13	5	3	2		3	10	4	452 10	27,424	45	2,110		1
8	12	4	2	2	2	2	11	8	1,325 66	52,833	133	4,403		2
9	19	3	4	2	2	8	11	9	248 57	11,189	23	589		2
10	18	3	1	2	4	8	10	7	709 4	33,616	71	1,868		1
11	9	3	2	1	1	2	7	3	599 0	20,372	86	2,264	1	
12	16		2	7	3	4	12	5	72 10	5,009	6	313		3
13	21	4	2		1	14	9	5	410 8	22,253	59	1,059		3
14	15	1	1	1	4	8	8	4	238 4	9,341	34	623		1
15	10	3	3	1	1	2	8	7	907 0	18,687	113	1,869	1	1
16	18	5	1	1	4	7	14	9	831 31	24,147	76	1,342	1	2

(平成17年～平成20年)

[illegible]

(12) 昭和45年以降の主な火災

区 分 年月日	出火場所・用途	原 因	損 害 金 額 (千円)	焼 損 面 積 (㎡)	焼損棟数			死 者	負 傷 者
					全 焼	半 焼	部 分 焼		
昭 和 45. 7. 4	南美唄町 (住 宅)	た ば こ (不 始 末)	3,653	358	4	1			
46. 1. 31	母 町 (店舗・寄宿舍)	不 明	3,016	59		1		10	1
49. 4. 21	我路町 (住 宅)	煙筒(飛び火)	10,032	1,215	17	1	1		1
49. 10. 3	南美唄町 (学 校)	不 明	95,000	5,089	2				
52. 10. 17	茶志内町 (学 校)	不 明	4,830	943	1				
53. 6. 3	母 町 (学 校)	不 明	23,661	1,411		1			2
54. 3. 23	沼ノ内町 (住 宅)	不 明	5,930	129	1			3	2
56. 2. 20	茶志内町 (家具店舗)	煙筒(過熱)	23,749	881	1				
57. 3. 8	母 町 (家具店舗)	不 明	72,646	1,728	2		1		
58. 6. 7	母 町 (医院併用住宅)	こ ん ろ (消し忘れ)	30,758	303	1				
58. 12. 8	西美唄町 (住 宅)	プロパン爆発	8,093	109	1			5	2
60. 2. 2	西美唄町 (住 宅)	ストーブ (床 過 熱)	3,809	137	1			5	
60. 4. 23	母 町 (飲食店)	た ば こ (不 始 末)	12,698	528	1				
61. 6. 2	母 町 (店舗併用住宅)	不 明	37,416	337	1				
平 成 元. 12. 6	峰 延 町 (飲食店併用住宅)	不 明	27,763	546	2				
2. 12. 31	母 町 (飲食店併用住宅)	た ば こ (不 始 末)	6,125	427	1				1
3. 5. 18	我 路 町 (住 宅)	石炭ストーブ (輻 射 熱)	6,643	455	3			1	
4. 7. 8	母 町 (店舗併用住宅)	ベビーサンダ ーの火花	16,237	247		1			
8. 5. 8	東 明 町 (牛 舎)	薪ストーブ (輻 射 熱)	28,694	897	1				
19. 10. 27	母 町 (空ビル)	ガス切断機 (伝導過熱)	149,217	2,601	2			2	

平成21年度

「全国統一防火標語」

消えるまで

ゆっくり火の元

にらめっ子